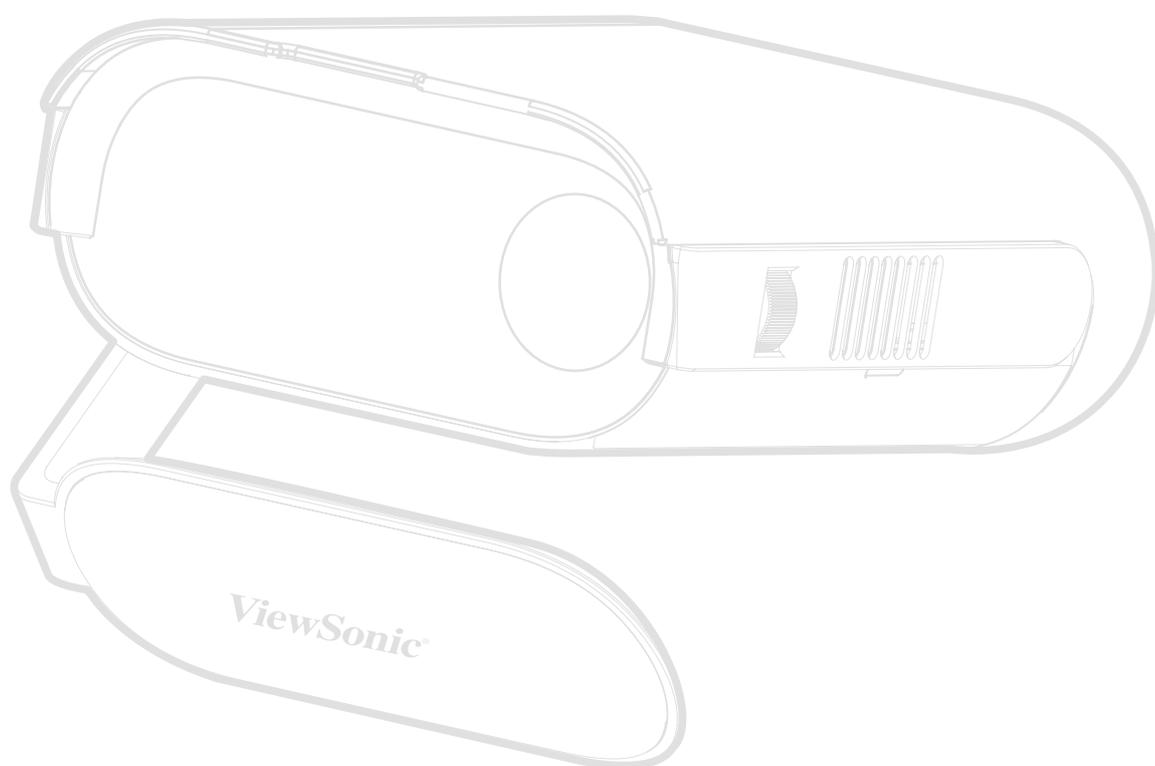


# M1X

## ポータブル LED プロジェクター ユーザーガイド



## **ViewSonic®をお選びいただき、 ありがとうございます。**

ViewSonic®は、ビジュアルソリューションの世界有数のプロバイダとして、技術の進化、革新、シンプルさに対する世界の期待を超えることに専心しています。ViewSonic®では、当社の製品は世界中でプラスの影響を与えることができると考えており、お客様が選択されたViewSonic®製品がお客様に役立つと確信しています。

繰り返しになりますが、ViewSonic®をお選びいただき、  
誠にありがとうございます。

# 安全上のご注意

このプロジェクターをお使いになる前に、以下の**安全上のご注意**をよくお読みください。

- 本ユーザーガイドは、安全な場所に保管してください。
- 全ての注意事項を読み、全ての仕様説明に従ってください。
- 換気を妨げないよう、プロジェクターの周囲、最低50cmは、清潔な状態を保ってください。
- プロジェクターは風通しの良い場所に置いてください。また、プロジェクターの内部に熱がこもらないように通風孔周辺には物を置かないでください。
- プロジェクターを傾斜や凹凸のある場所、不安定な場所に置かないでください。プロジェクターが倒れて、怪我またはプロジェクターの故障の原因となることがあります。
- 操作中はプロジェクターレンズを直視しないでください。強烈な光線により目を傷めることがあります。
- プロジェクターのランプが点灯しているときは、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを取り外してください。
- プロジェクターの動作中は、投影レンズを物で塞がないでください。物が加熱されて変形したり、火災の原因となる可能性があります。
- 動作中はランプが非常に高温になります。交換のためにランプアセンブリを取り外す前に、プロジェクターを約45分間冷却してください。
- 定格ランプ寿命を超えてランプを使用しないでください。定格寿命を超えて過度にランプを使用すると、まれにランプが破損する可能性があります。
- プロジェクターの電源プラグを抜かない限り、ランプアセンブリまたは電子部品を交換しないでください。
- プロジェクターを分解しないでください。内部に危険な高電圧があり、通電箇所に触れると、死亡する可能性があります。
- プロジェクターを移動させる際は、落としたり、何かにぶついたりしないように十分にご注意ください。
- また、プロジェクターまたは接続ケーブルの上には重いものを置かないでください。
- プロジェクターを垂直に立てないでください。そうすることで、プロジェクターが倒れて、怪我またはプロジェクターの故障の原因となることがあります。
- プロジェクターは直射日光の当たる場所に置かないでください。ラジエーター、ヒートレジスタ、ストーブ、またはプロジェクターの温度を危険なレベルまで上昇させる可能性のあるその他の装置(アンプを含む)などの熱源の近くに設置しないでください。

- プロジェクターの近くまたは上に液体を置かないでください。プロジェクター内に液体がこぼれた場合、故障する可能性があります。プロジェクターが濡れた場合は、電源から外し、最寄りのサービスセンターに電話して、プロジェクターの修理を依頼してください。
- プロジェクターが動作しているとき、換気グリルから熱気や臭いを感じることがあります。これは正常な動作であり、故障ではありません。
- 分極プラグや接地プラグの安全規定を妨げないようにしてください。分極プラグは2つのブレードがあり、一方がやや幅広になっています。アースタイプのプラグには、2本のブレードと1本のアース用突起があります。幅の広いブレードとアース用ブレードは、安全のために用意されています。プラグがコンセントに合わない場合は、形状が一致する変換アダプタをご使用ください。
- プラグをコンセントに接続するときは、アース端子を絶対に取り外さないでください。
- プラグや電源コードが、何か物に踏まれたり、挟まれたりしないようにしてください。プロジェクターから突出した電源コード部分は、特に注意してください。
- 国によっては、電圧が安定していません。このプロジェクターは、AC100～240Vの電圧範囲で安全に動作するように設計されていますが、停電または±10Vのサージが発生すると故障することがあります。電圧が変動したり、遮断される可能性がある場所では、電源安定装置、サージ保護装置、または無停電電源装置 (UPS) を介してプロジェクターを接続することをお勧めします。
- 万一、煙、異音、異臭などが発生した場合は、直ちにプロジェクターの電源を切り、販売店またはViewSonic®にご連絡ください。そのままご使用を続けることは大変危険です。
- 付属品/アクセサリはメーカーが指定する物のみをご使用ください。
- 長期間使用しない場合には、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 製品の修理は、認定されたサービス担当者にご依頼ください。

# 内容

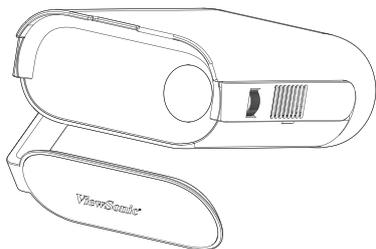
<b>安全上のご注意</b> .....	<b>3</b>
<b>はじめに</b> .....	<b>8</b>
付属品.....	8
各部の名称.....	9
プロジェクター.....	9
入出力ポート.....	10
リモコン.....	11
リモコン - 有効範囲.....	12
リモコン - 電池の交換.....	12
<b>セットアップ</b> .....	<b>13</b>
場所の選択 - 投影方向 .....	13
投影寸法.....	14
16:9スクリーン上の16:9画像.....	14
<b>本体の接続</b> .....	<b>15</b>
電源との接続.....	15
DC電源（電源コンセント） .....	15
モバイルバッテリーによる電力供給.....	16
バッテリーの使い方 .....	16
バッテリー使用時間情報.....	16
外付け機器への接続 .....	17
HDMI接続.....	17
USB接続.....	17
オーディオ接続.....	17
Bluetooth Connection（Bluetooth接続） .....	18
Bluetooth Speaker（Bluetoothスピーカー） .....	18
Bluetooth Out（Bluetooth出力） .....	20
ネットワークに接続する .....	21
Wi-Fi Connection（Wi-Fi接続） .....	21
Custom SSID（カスタムSSID） .....	23
ワイヤレス画面ミラーリング .....	25

<b>プロジェクターの使用法</b> .....	<b>26</b>
プロジェクターを起動する .....	26
投影画像を調整する .....	27
プロジェクターの高さと投影角度を調整する .....	27
フォーカスの調整.....	27
初めて起動する場合 .....	28
Bluetoothリモコンのペアリング .....	28
Preferred Language（使用言語） .....	29
Projection Orientation（投影方向） .....	29
Network Settings（ネットワーク設定） .....	30
プロジェクターをシャットダウンする .....	31
選択された入力ソース - オンスクリーンディスプレイ (OSD) ツリー .....	32
<b>メニュー操作</b> .....	<b>41</b>
Home Screen（ホーム画面） .....	41
Home Screen（ホーム画面） - オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー ツリー .....	42
メニュー操作.....	46
File Management（ファイル管理） .....	46
メディアコントロールバーのボタンの使用方法 .....	48
サポートされるファイル形式.....	49
Apps Center.....	51
Bluetooth .....	54
Settings（設定） .....	55
Screen Mirroring（画面ミラーリング） .....	69

<b>付録</b> .....	<b>73</b>
仕様.....	73
タイミングチャート .....	74
HDMI/USB-Cビデオのタイミング .....	74
HDMI/USB Cビデオのタイミング.....	75
3Dサポートタイミング .....	76
LEDインジケータ .....	77
トラブルシューティング .....	78
メンテナンス.....	79
お手入れの際の注意.....	79
レンズを清掃する.....	79
ケースのお手入れ.....	79
プロジェクターを保管する .....	79
<b>規制およびサービス情報</b> .....	<b>80</b>
コンプライアンス情報.....	80
FCCコンプライアンス声明.....	80
FCC放射線被ばく声明.....	81
カナダ産業省の声明.....	81
IC警告に関する声明.....	81
国コードに関する声明.....	81
IC放射線被ばくに関する声明.....	82
欧州諸国のCE適合.....	82
RoHS2コンプライアンス宣言 .....	83
バッテリー警告.....	84
インドの有害物質規制.....	85
製品ライフサイクル終了時の製品の廃棄 .....	85
著作権情報.....	86
カスタマーサポート .....	87
限定保証.....	88

# はじめに

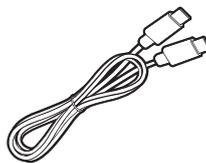
## 付属品



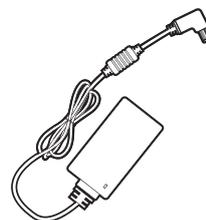
1



2



3



4



5



6

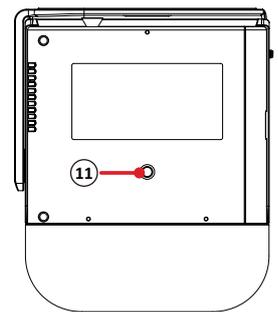
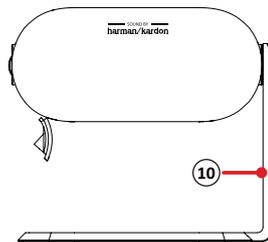
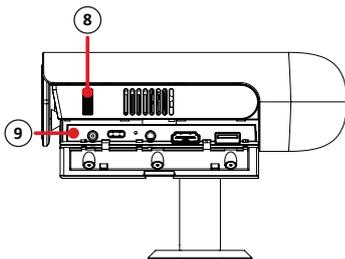
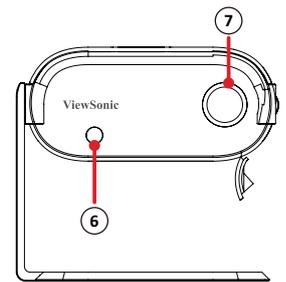
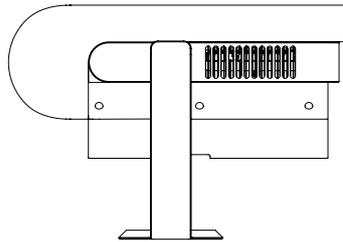
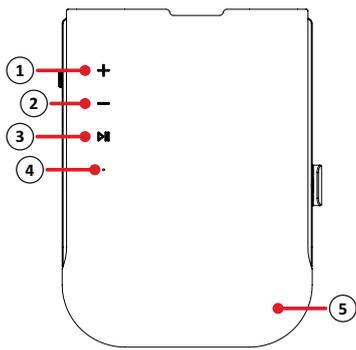


7

数	詳細
1	プロジェクター
2	電源コード
3	USBタイプCケーブル
4	電源アダプタ
5	リモコン(電池付き)
6	キャリーバッグ
7	クイックスタートガイド

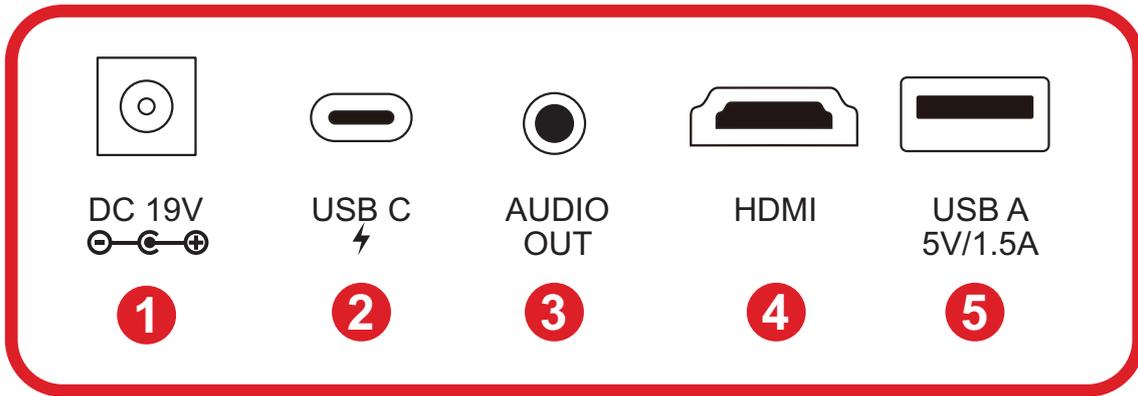
# 各部の名称

## プロジェクター



数	詳細
1	音量(上)
2	音量(下)
3	再生/一時停止
4	LEDインジケータ(電源およびバッテリーLED)
5	スピーカー
6	IRレシーバー
7	レンズ
8	フォーカスリング
9	入出力ポート
10	スマートスタンド
11	三脚マウント

## 入出力ポート



1. DC IN

2. USB Type C<sup>1</sup>

3. Audio Out

4. HDMI<sup>2,3</sup>

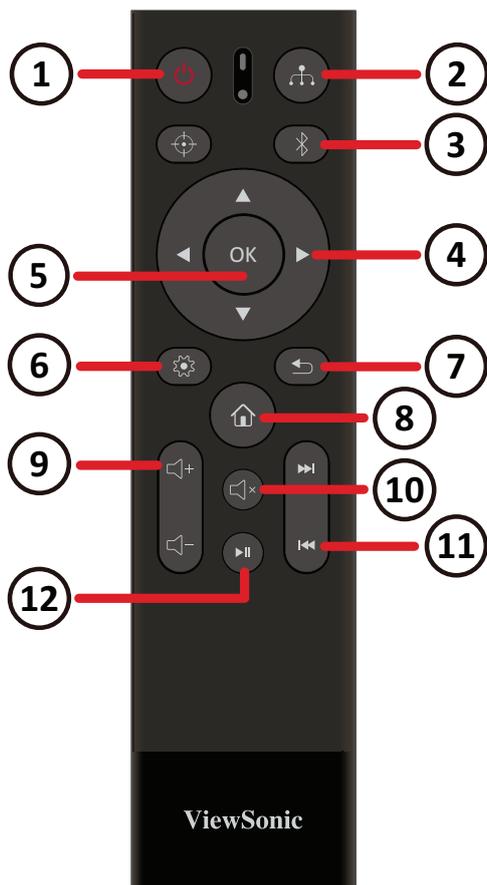
5. USB Type A

1- 付属のUSB Type Cケーブルを使用して、USB Type Cデバイスがビデオ伝送をサポートできることを確認してください。

2- HDCP 1.4/HDMI 1.4をサポートします。

3- iPhone/iPadユーザーは追加アダプタを購入する必要があります。互換性の問題を回避するために、Appleの正規アクセサリを使用してください。

# リモコン



ボタン		詳細
1	電源	プロジェクターをオンまたはオフにします
2	ソース	入力ソース選択メニューを表示します
3	Bluetoothモード	Bluetoothを有効にします
4	上/下/左/右	ナビゲートしてメニュー項目を選択します。
5	OK	選択を確定します
6	設定	設定メニューを表示します
7	戻る	前の画面に戻ります
8	ホーム	ホーム画面にアクセスします
9	音量制御	音量レベルを増減します
10	ミュート	音量をミュートします
11	次へ/前へ	次へ/前へ移動します
12	再生/一時停止	メディアを再生または一時停止します

**注記：** このモデルは、フォーカスボタンをサポートしていません。

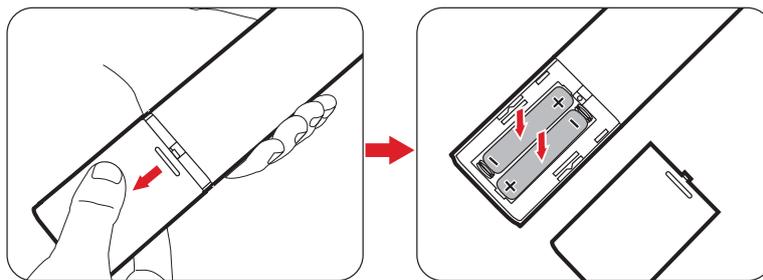
## リモコン - 有効範囲

リモコンが正しく機能するようにするために、次の手順に従ってください。

1. リモコンを、プロジェクターのIRリモコンセンサーに対して30°以内で保持してください。
2. リモコンとセンサーの間の距離が、7 m (22フィート) を超えないようにしてください。

## リモコン - 電池の交換

1. 電池カバーを開けるには、リモコンを裏返して背面を確認し、矢印の方向にカバーを開けます。
2. 既存の電池を取り外し(必要な場合)、電池収納部の底に示されている電池の極性に注意して、2本の単四電池を取り付けます。正 (+) は正極になり、負 (-) は負極になります。
3. 電池トレイをベースに合わせて押し込み、元の位置に戻します。



### 注記：

- リモコンと電池を暑い場所や湿気の多い場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じまたは同等のタイプのもののみと交換してください。
- 電池が消耗している場合、またはリモコンを長期間使用しない場合は、リモコンの損傷を防ぐために電池を取り外してください。
- 使用済みの電池は、メーカーの指示および地域の環境規制に従って処分してください。

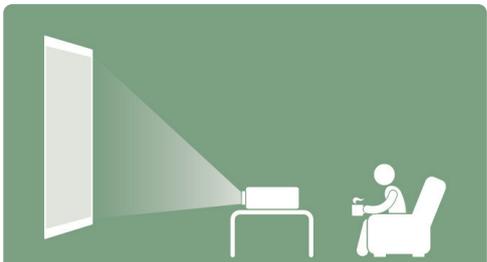
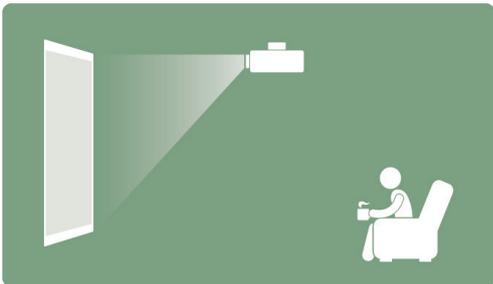
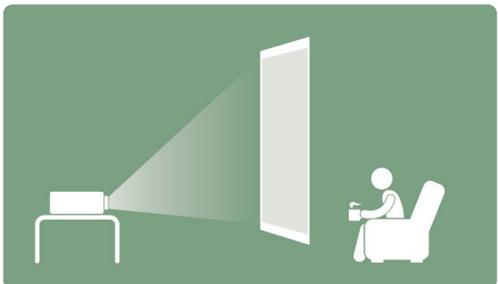
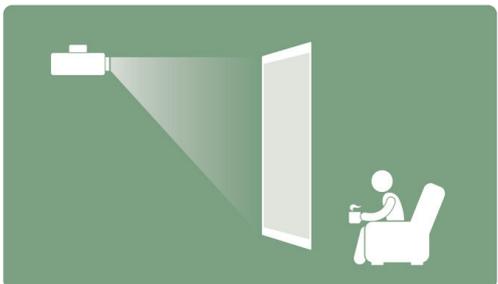
# セットアップ

## 場所の選択 - 投影方向

設置場所は、個人の好みや部屋のレイアウトによって決まります。次の点を考慮してください。

- スクリーンのサイズと位置。
- 適切なコンセントの場所。
- プロジェクターと他の装置との間の場所と距離。

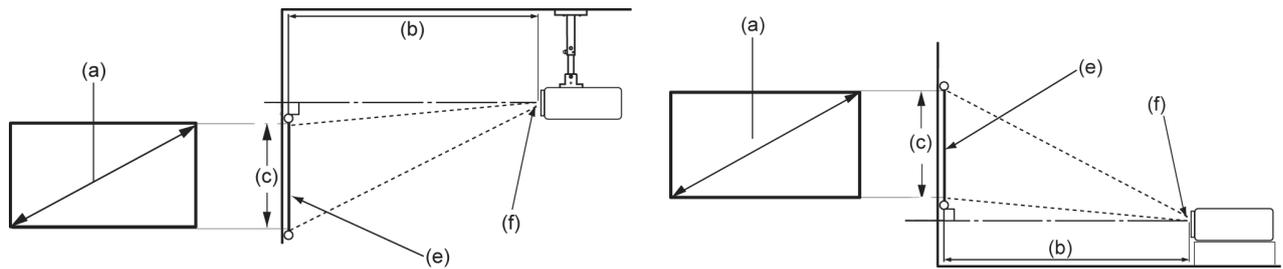
プロジェクターは、次のいずれかの場所に設置するように設計されています。

場所	
<p><b>前面机上</b> プロジェクターはスクリーンの正面の床の近くに配置されます。</p>	
<p><b>前面天井</b> プロジェクターは、スクリーンの正面の天井から上下逆に吊り下げられます。</p>	
<p><b>背面机上<sup>1</sup></b> プロジェクターは、スクリーンの後ろの床の近くに配置されます。</p>	
<p><b>背面天井<sup>1</sup></b> プロジェクターは、スクリーンの後ろの天井から上下逆に吊り下げられます。</p>	

1 - 背面投影スクリーンが必要です。

# 投影寸法

## 16:9スクリーン上の16:9画像



注記：(e) = スクリーン/(f) = レンズ中心

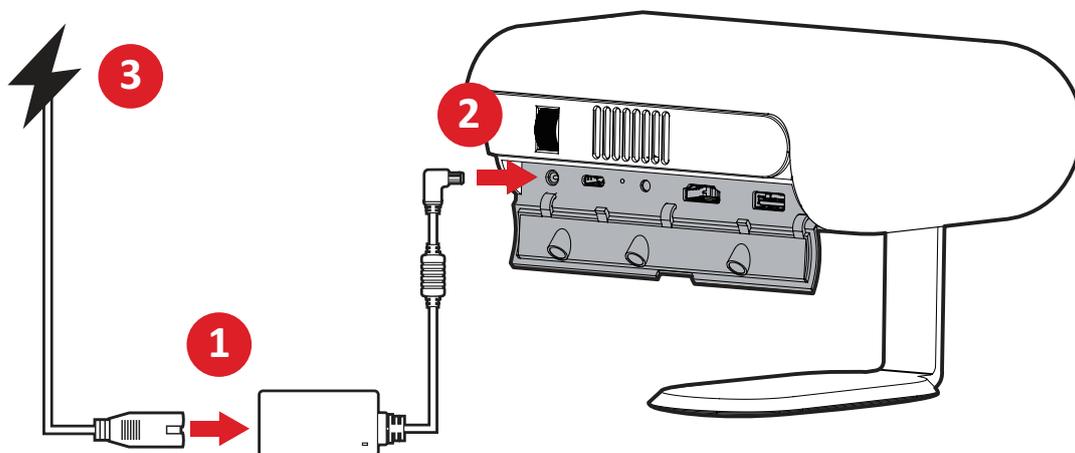
(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離		(c) 画像の高さ		画像の幅	
インチ	cm	インチ	m	インチ	cm	インチ	mm
30	76.2	32.16	0.82	14.7	37.36	26.15	664
40	101.6	42.88	1.09	19.6	49.81	34.86	886
50	127	53.6	1.36	24.5	62.26	43.58	1107
60	152.4	64.32	1.63	29.4	74.72	52.29	1328
70	177.8	75.04	1.91	34.3	87.17	61.01	1550
80	203.2	85.76	2.18	39.2	99.62	69.73	1771
90	228.6	96.48	2.45	44.1	112.07	78.44	1992
100	254	107.2	2.72	49	124.53	87.16	2214

注記：プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

# 本体の接続

## 電源との接続

### DC電源(電源コンセント)



1. 電源コードを電源アダプタに接続します。
2. プロジェクターの側面にあるDC入力ジャックに電源アダプターを接続します。
3. 電源プラグをコンセントに挿し込みます。接続すると、充電ステータスLEDが白色に変わります。

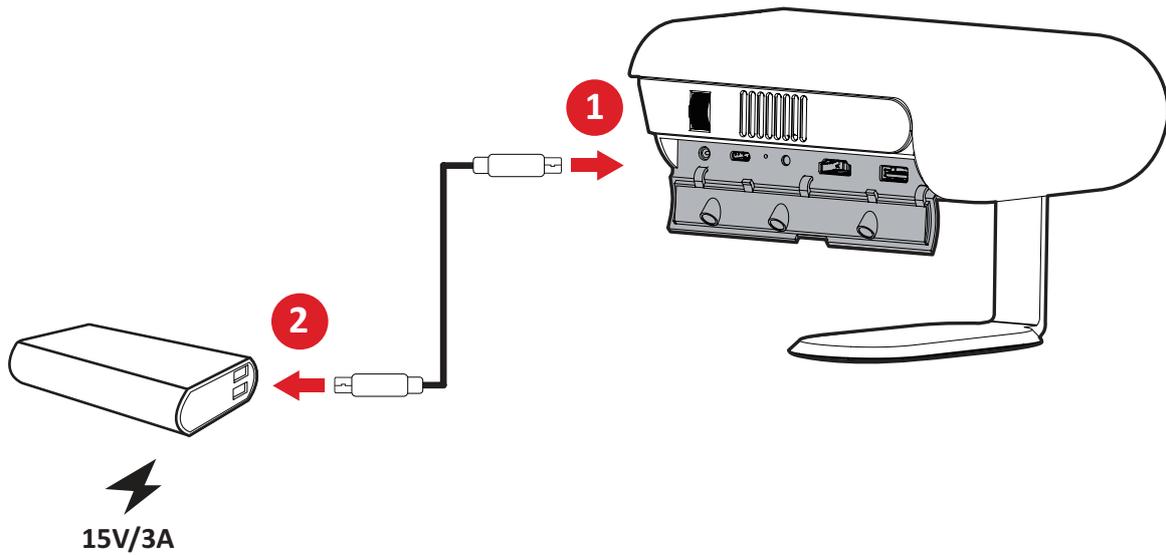
**注記：** プロジェクターを初めてバッテリーモードで使用する前に、電源アダプターを介してプロジェクターを4.5時間充電します。

### ! 重要

- » バッテリーパックの充電とLEDプロジェクターの電源供給には、付属の電源アダプターのみを使用してください。
- » LEDプロジェクターを初めてオンにする場合は、電源アダプターに接続してください。LEDプロジェクターを電源アダプターモードで使用する場合は、接地済みのコンセントに接続することを強く推奨します。
- » コンセントはLEDプロジェクターの付近、簡単に手の届く場所に配置してください。
- » LEDプロジェクターの電源を外す場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

## モバイルバッテリーによる電力供給

プロジェクターは、電源バンクからも給電できます。



1. USBタイプCケーブルの一端をプロジェクタの**USB-C**ポートに接続します。
2. USBタイプCケーブルの他端を電源バンクに接続します。

### 注記：

- 電源バンクは、少なくとも45W (15V/3A) で、Power Delivery (PD) プロトコル出力をサポートするようにしてください。さらに、15V/3Aでは、プロジェクターの電源を入れて同時に充電することができます。
- IC保護メカニズムにより、USB-C充電機能が一時的に停止し、後で続行する場合があります。

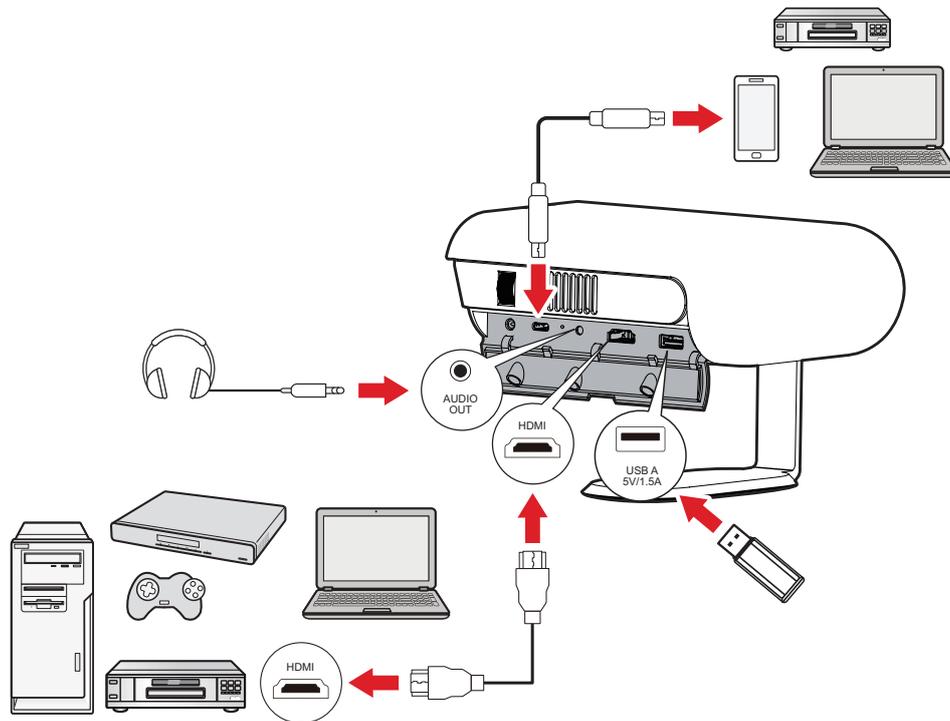
## バッテリーの使い方

バッテリーレベルアイコンは、**Home Screen (ホーム画面)** の右上に表示されます。バッテリーの電力レベルが低下すると、画面に「バッテリー低下メッセージ」が表示されます。

### バッテリー使用時間情報

充電	約4.5時間(電源オフ)
使用時間	最大4時間(電池節約) 最大2.5時間(エコ) 最大2時間(フル)
バッテリーレベルインジケータ (充電)	充電中：白色LEDライトの点滅 フル充電：白色LEDライトの点灯

# 外付け機器への接続



## HDMI接続

HDMIケーブルの片方をビデオ機器のHDMIポートに接続し、次に、ケーブルのもう一方の端をプロジェクターの**HDMI**ポート（HDCP 1.4/HDMI 1.4をサポート）に接続します。

## USB接続

### USBタイプA接続

写真、音楽、映画を楽しむには、USBフラッシュドライブを**USB-A**ポートに接続してください。サポートされているファイル形式については、50ページを参照してください。

### USBタイプC接続

USBタイプCケーブルの一端を機器のUSB-Cポートに接続し、ケーブルの他端をプロジェクターの**USB-C**ポートに接続します。

#### 注記：

- USBタイプC機器がビデオ転送をサポートできることを確認してください。
- 接続されたデバイスも充電できます (5V/1.5A)。

## オーディオ接続

音声出力ポートを介して、さまざまな外部サウンド配信デバイスに接続できます。

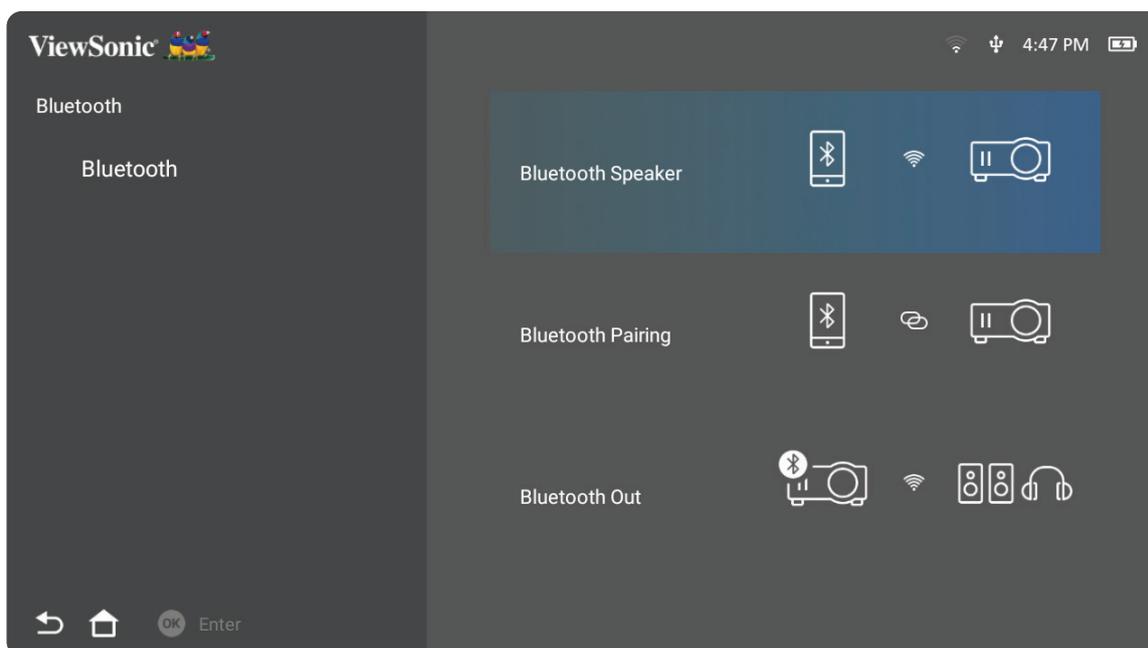
# Bluetooth Connection (Bluetooth 接続)

## Bluetooth Speaker (Bluetoothスピーカー)

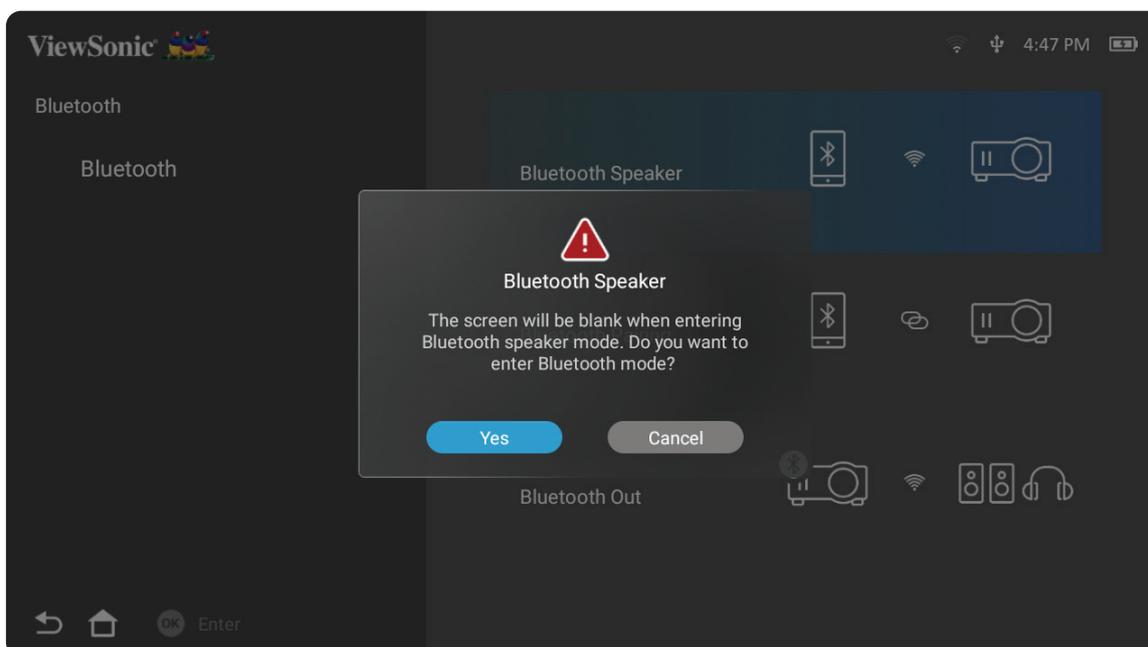
プロジェクターには、オーディオ再生用にデバイスをワイヤレスで接続するためのBluetoothが搭載されています。

デバイスを接続し、ペアリングするには：

1. 以下に進みます：**Home (ホーム) > Bluetooth**。
2. リモコンの**上**および**下**方向ボタンを使って、**Bluetooth Speaker (Bluetoothスピーカー)**または**Bluetooth Pairing (Bluetoothペアリング)**を選択します。次に、リモコンの**OK**を押します。



3. 以下のダイアログボックスが表示されたら、**Yes (はい)**を選択し、リモコンの**OK**を押して、Bluetoothモードに入ります。



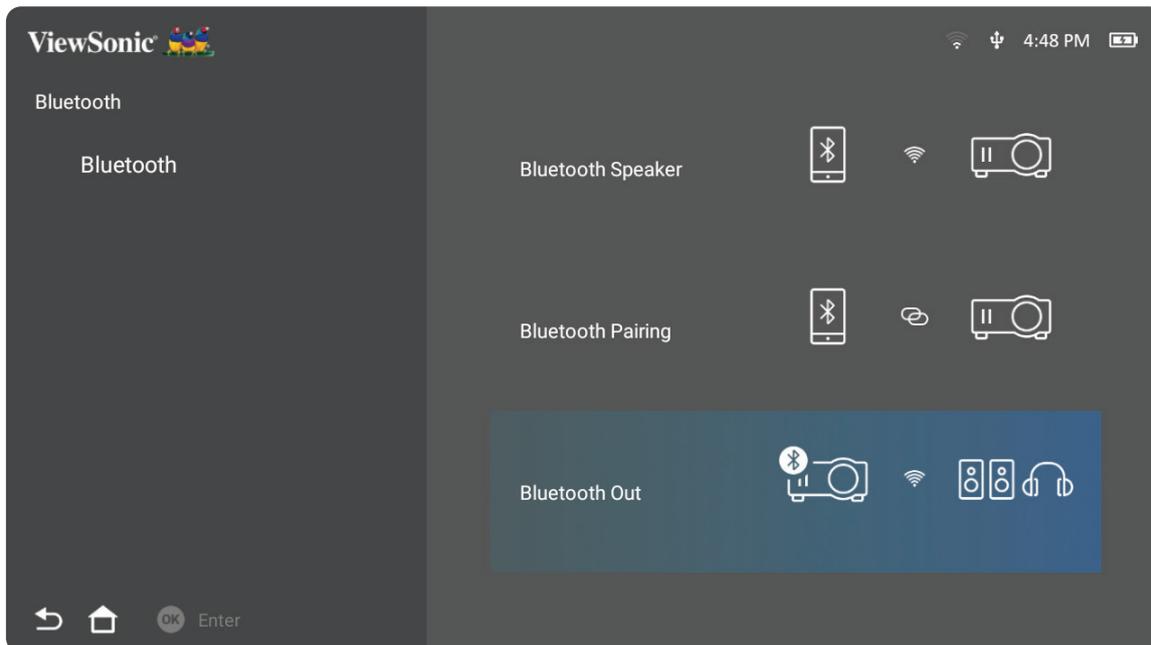
4. ペ어링モードに入ると、効果音が聞こえます。
5. 接続に成功すると、別の効果音が聞こえます。

**注記：**

- プロジェクターの名前には「M1X」というラベルが付けられます。
- **Power (電源)** および **Return (戻る)** ボタンのみが、Bluetoothモードを終らせることができます。

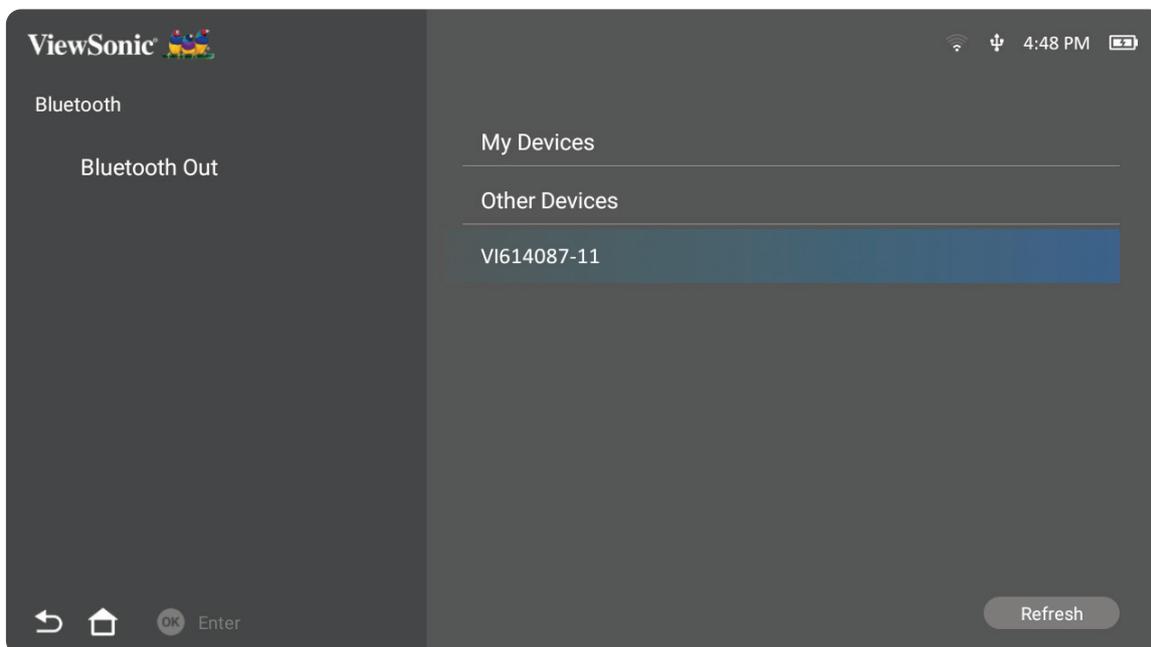
## Bluetooth Out (Bluetooth出力)

Bluetoothをサポートする外部ヘッドフォンまたはスピーカーにプロジェクターを接続します。



デバイスを接続し、ペアリングするには：

1. 以下に進みます：**Home (ホーム) > Bluetooth**。
2. リモコンの**上**および**下**方向ボタンを使って、**Bluetooth Out (Bluetooth出力)** オプションを選択します。



3. プロジェクターは、近くのBluetoothデバイスを検索します。リストからデバイスを選択し、リモコンの**OK**を押します。

**注記：** ペアリングすると、プロジェクターとデバイスの両方の電源が入っている場合、Bluetooth経由で自動的に接続されます。

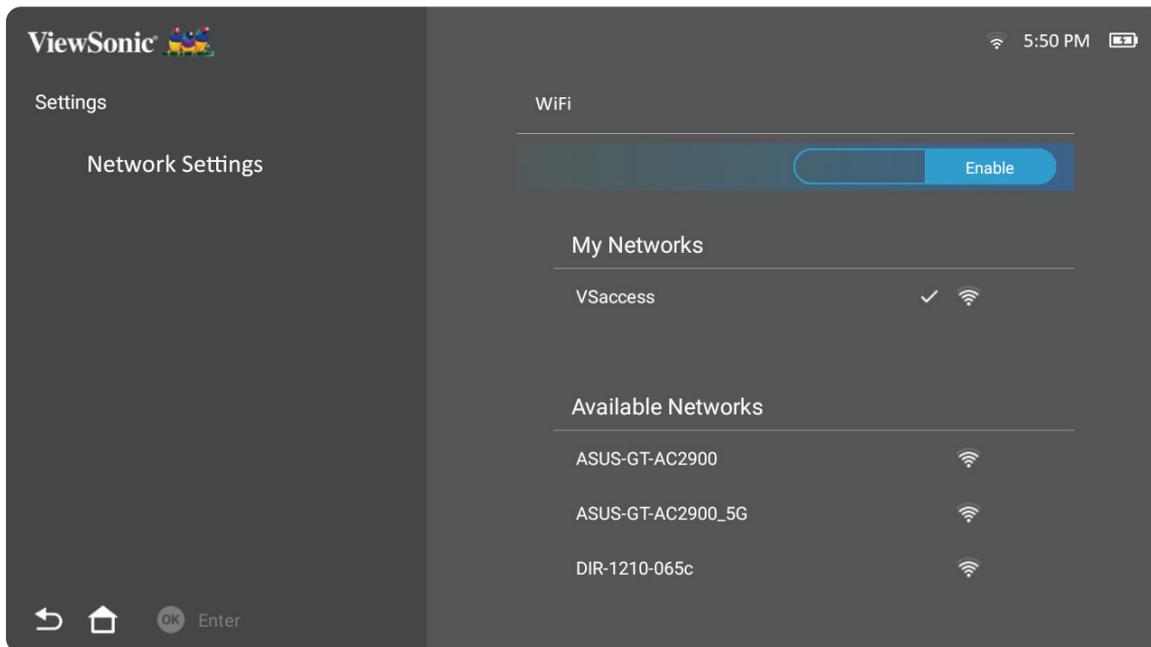
# ネットワークに接続する

## Wi-Fi Connection (Wi-Fi接続)

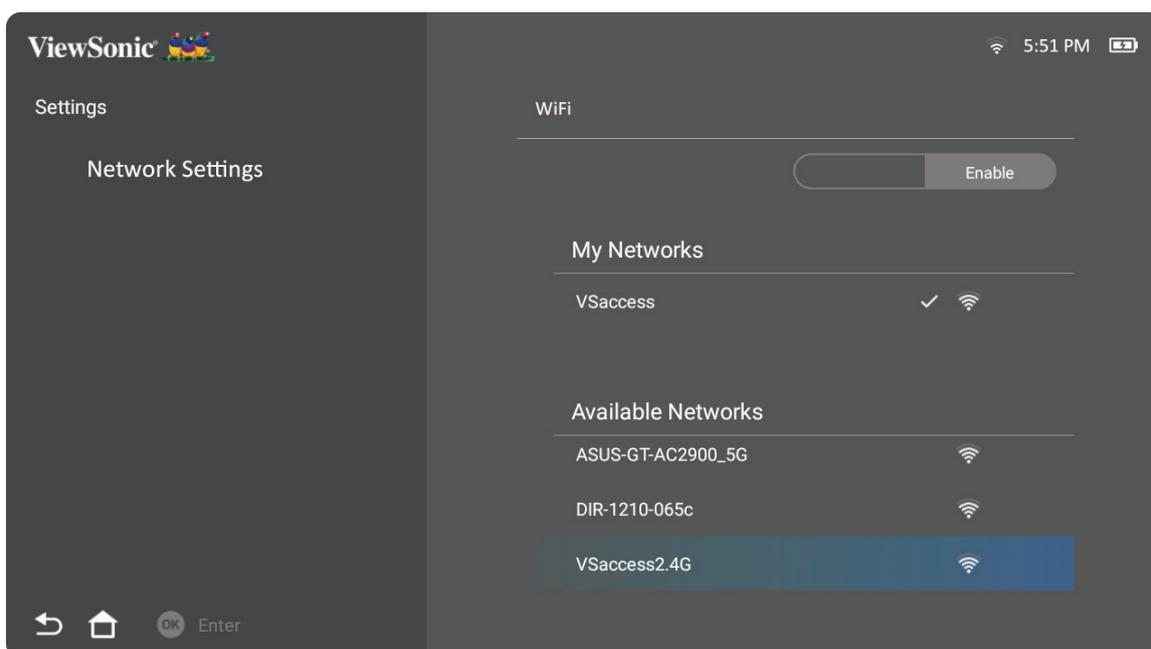
内蔵のWi-Fiを使用すると、ワイヤレスインターネットネットワークに簡単に接続できます。

Wi-Fiネットワークに接続するには：

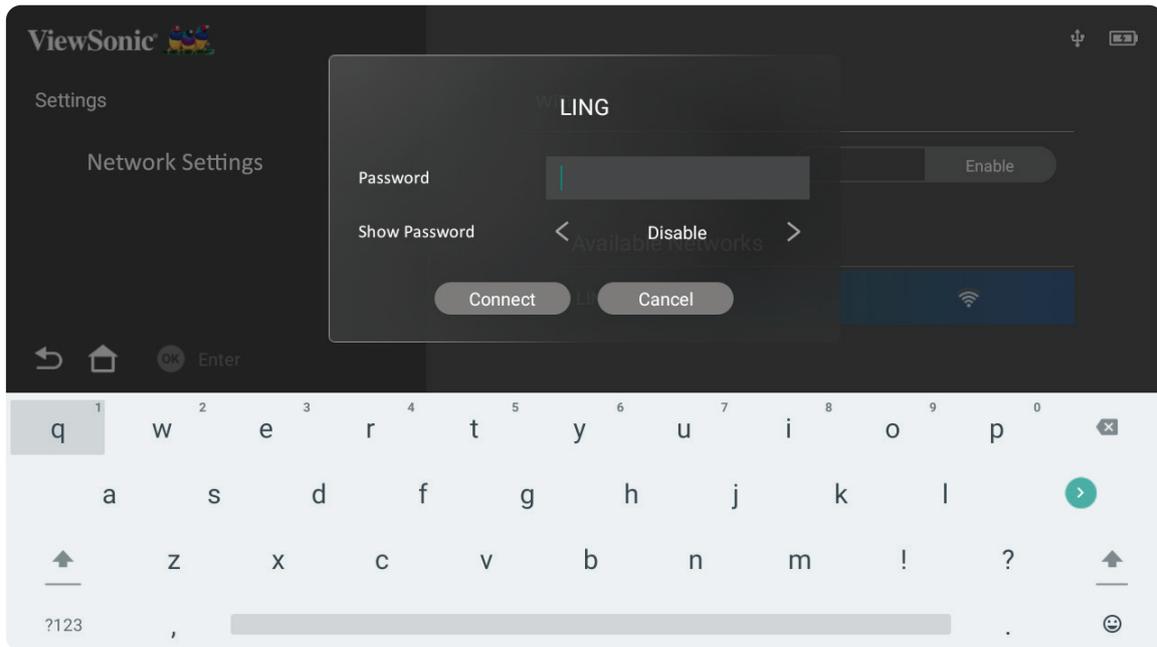
1. 以下に進みます：**Home (ホーム) > Settings (設定) > Network Settings (ネットワーク設定) > Wi-Fi**
2. リモコンの**左**または**右**方向ボタンを使って、**Enable (有効)** を選択します。



3. 利用可能なWi-Fiネットワークが表示されます。利用可能なWi-Fiネットワークの1つを選択してください。

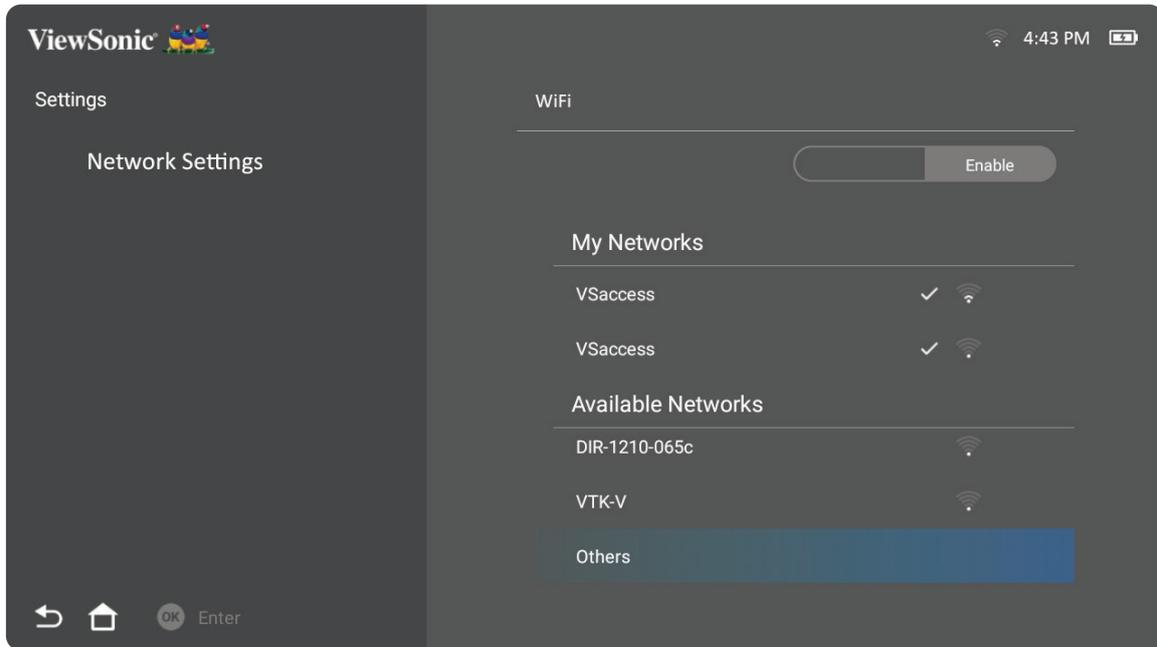


4. 安全なWi-Fiネットワークに接続している場合は、メッセージが表示されたらパスワードを入力する必要があります。

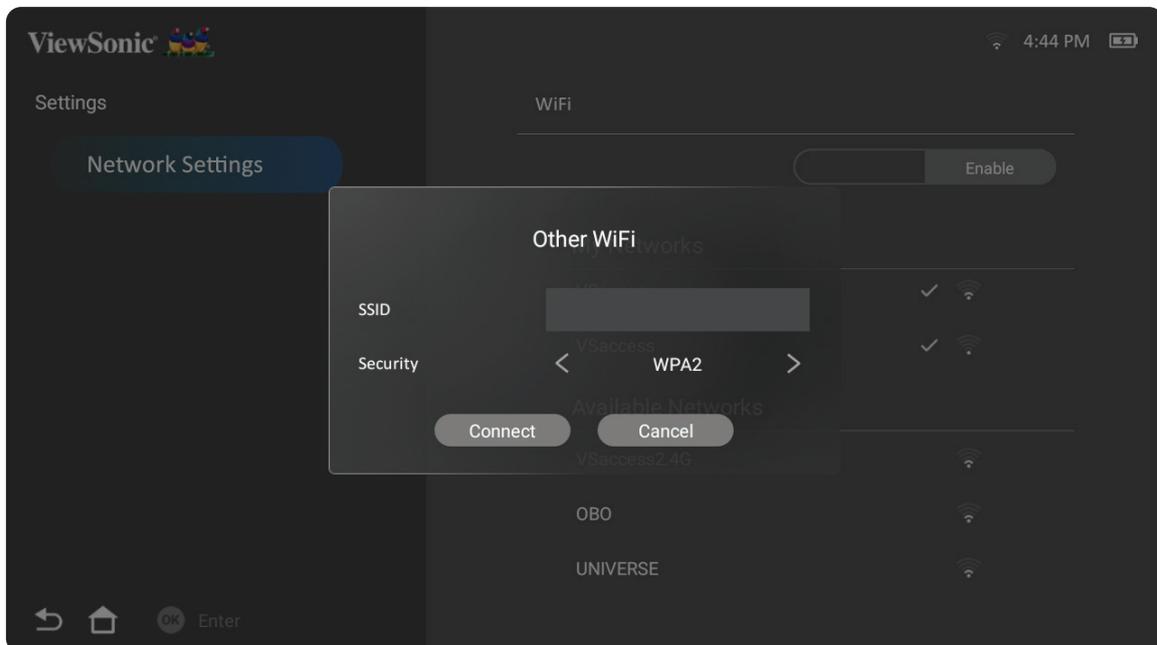


## Custom SSID (カスタムSSID)

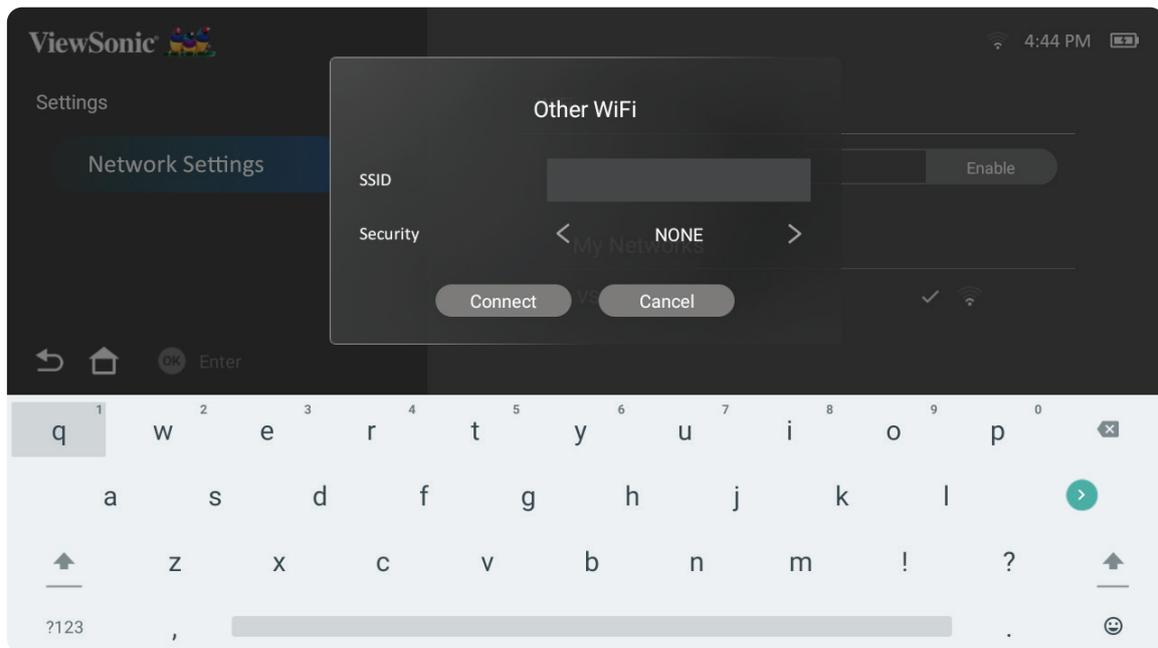
1. 以下に進みます：**Home (ホーム) > Settings (設定) > Network Settings (ネットワーク設定) > Wi-Fi**
2. リモコンの**上**または**下**方向ボタンを使って、**Enable (有効)** を選択します。
3. 利用可能なWi-Fiネットワークリストから、**Others (その他)** を選択し、リモコンの**OK**を押します。



4. SSIDを入力して、セキュリティレベルを選択します。



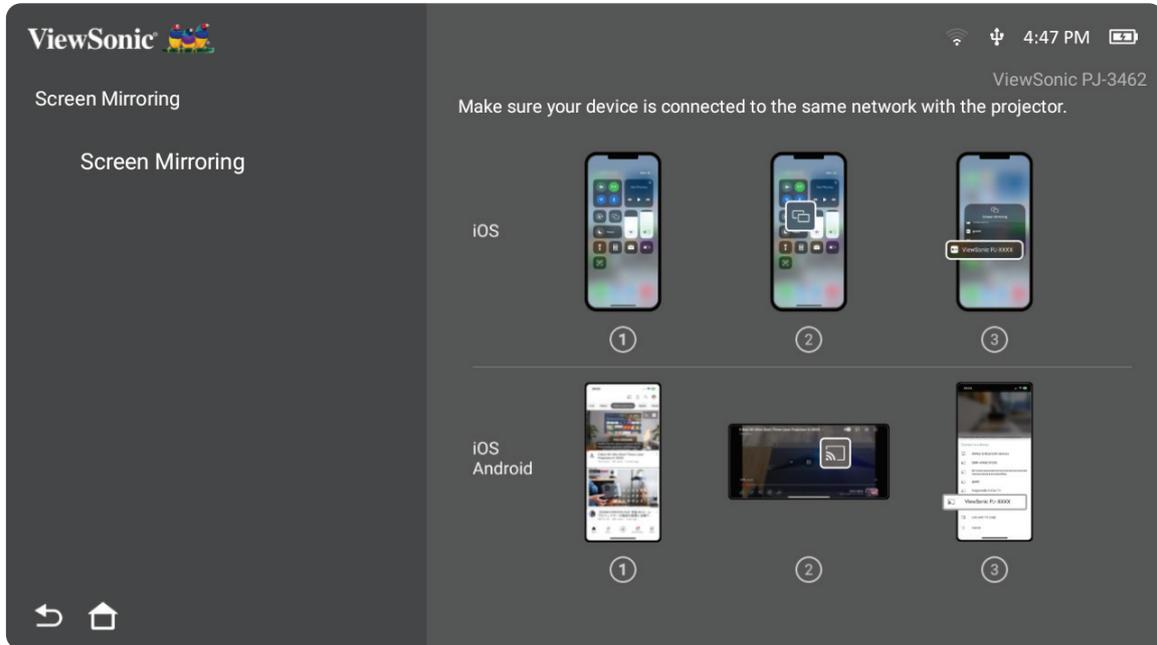
5. プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。



# ワイヤレス画面ミラーリング

画面ミラーリングは、ユーザーが自分の個人用デバイスの画面をミラーリングするための5 GHz Wi-Fi接続を提供します。

**注記：** デバイスがプロジェクターと同じネットワークに接続されていることを確認してください。



## iosの場合：

1. ドロップダウンコントロールメニューにアクセスします。
2. 「Screen Mirroring (画面ミラーリング)」アイコンを選択します。
3. 「ViewSonic PJ-XXXX」を選択します。

## Androidの場合：

1. 「Google Home」アプリケーションをダウンロードし、インストールして、それを開きます。
2. アプリをプルして更新し、30秒待ちます。
3. 「ViewSonic PJ-XXXX」が表示されるので、選択します。

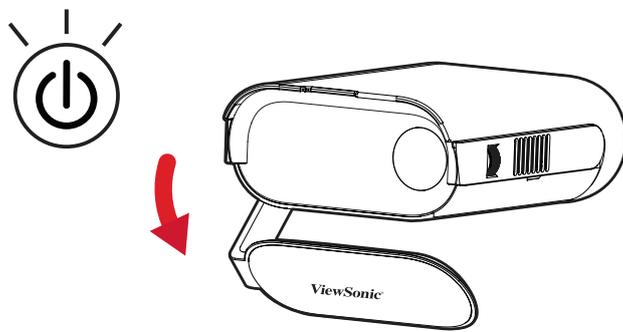
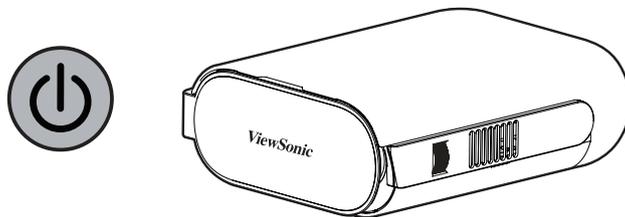
## 直接キャストする方法 (YouTubeの例)

1. プロジェクターと携帯電話を同じWi-Fiネットワークに接続します。
2. 接続した携帯電話でYouTubeアプリを開き、画面右上の「キャスト」アイコンをタップします。
3. プロジェクターの名前「ViewSonic PJ-XXXX」を選択すると、携帯電話からプロジェクターを介してコンテンツのキャストが開始されます。
4. キャストを停止するには、携帯電話の画面で切断オプションを選択します。

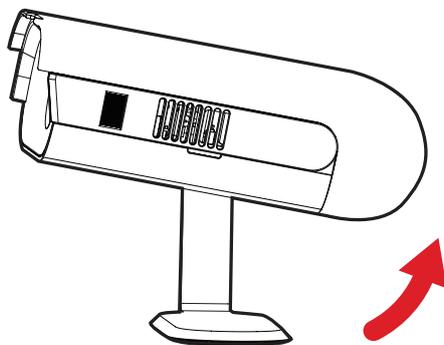
# プロジェクターの使用法

## プロジェクターを起動する

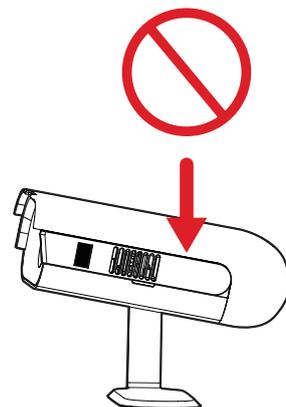
1. プロジェクターが電源に接続されているか、バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。
2. レンズカバーを下に動かして、スマートスタンドを開きます。



3. スマートスタンドを希望の視野角に移動します。



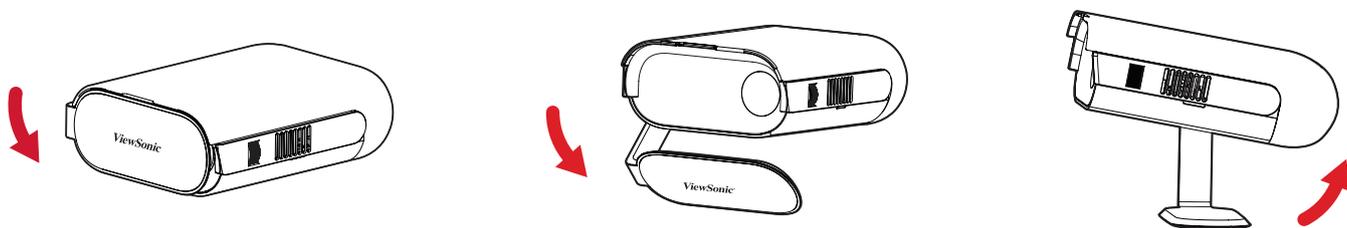
**注記：** スマートスタンドを開く際、プロジェクターのI/O側に重いものを載せたり、強く押したりしないでください。故障の原因となります。



# 投影画像を調整する

## プロジェクターの高さと投影角度を調整する

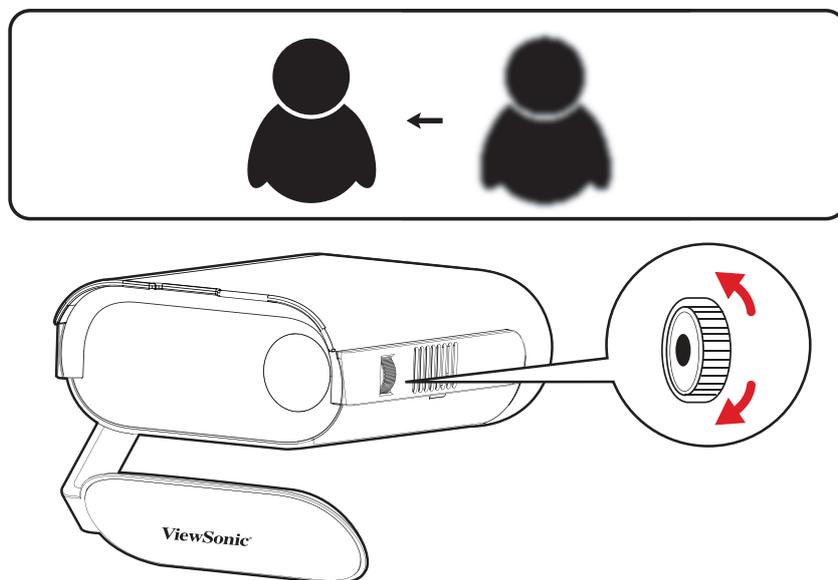
プロジェクターには、1つのスマートスタンドが装備されています。スタンドを調整すると、プロジェクターの高さと垂直投影角度が変わります。スタンドを慎重に調整して、投影画像の位置を微調整します。



**注記：** プロジェクターが平らな面に置かれていない場合、またはスクリーンとプロジェクターが互いに垂直でない場合は、投影画像が台形になることがあります。ただし、「自動垂直キーストーン」機能は問題を自動的に修正します。

## フォーカスの調整

画面上の画像のフォーカスを調整するには、フォーカスリングをゆっくり上下に動かします。

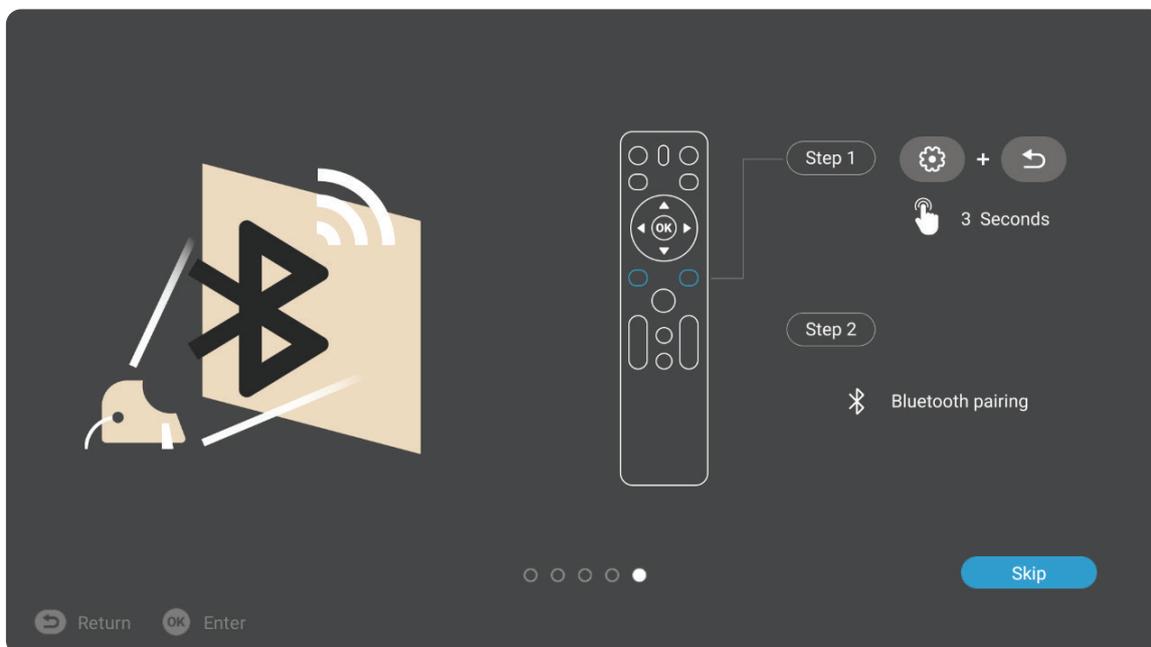


## 初めて起動する場合

プロジェクターを初めて起動する場合は、Preferred Language (使用言語)、Projection Orientation (投影方向)、Network Settings (ネットワーク設定) を選択する必要があります。リモコンの**OK**および**上/下/左/右**ボタンを使用して、画面の指示に従います。Finish (完了) 画面が表示されたら、プロジェクターは使用可能な状態です。

### Bluetoothリモコンのペアリング

1. **Settings (設定)** と **Return (戻る)** ボタンを3秒間長押しして、ペアリングモードに入ります。
2. リモコンのLEDが青色に点滅します。
3. 「Successfully Paired (正常にペアリングされました)」というメッセージが表示されます。そうでない場合は、もう一度やり直るか、**Next (次へ)** を選択して次のページに移動してください。**App Center > RC BT Pairing (RC BTペアリング)**。



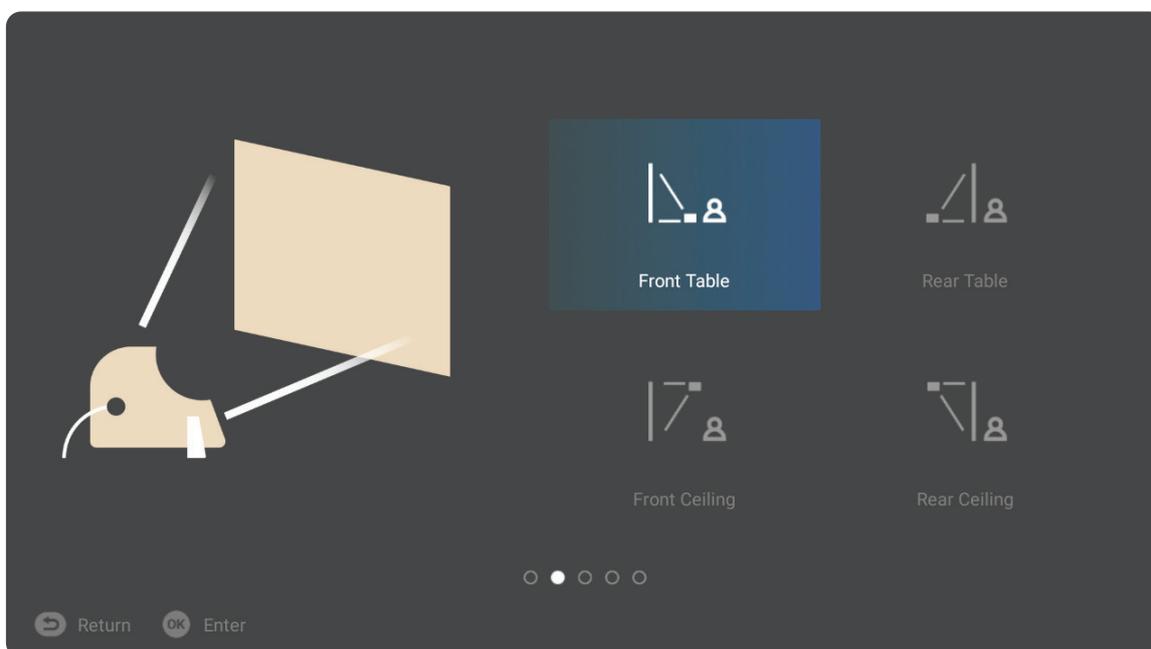
## Preferred Language (使用言語)

希望の言語を選択し、OKを押して選択を確定します。



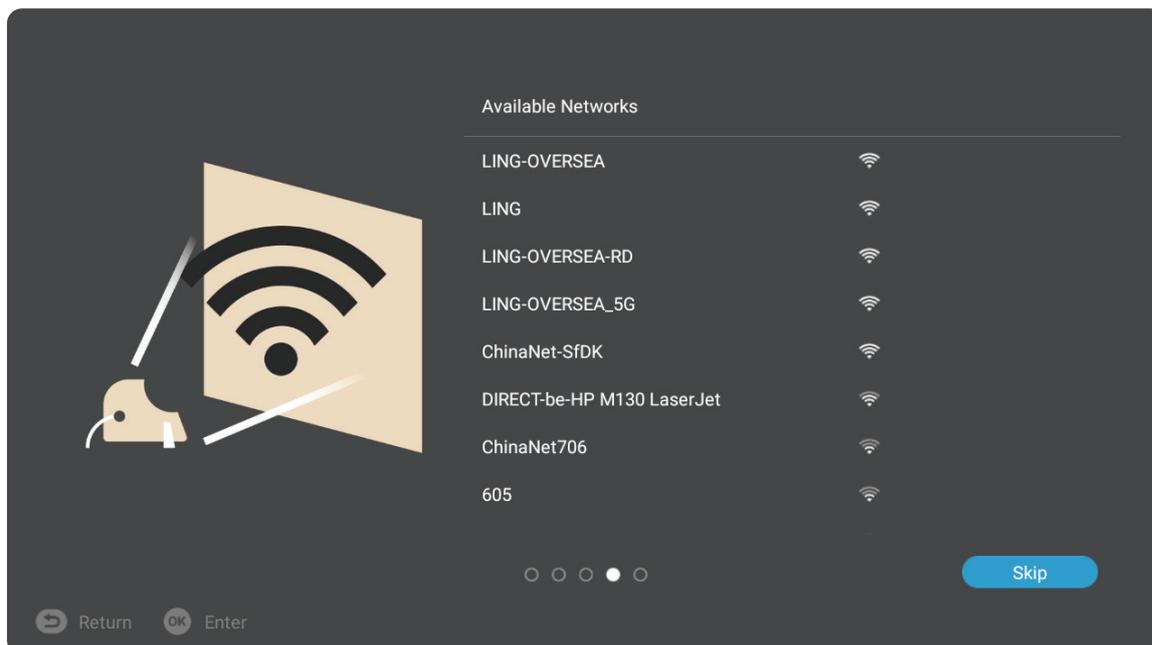
## Projection Orientation (投影方向)

好ましい投影方向を選択し、OKを押して選択を確定します。詳細については、13ページを参照してください。



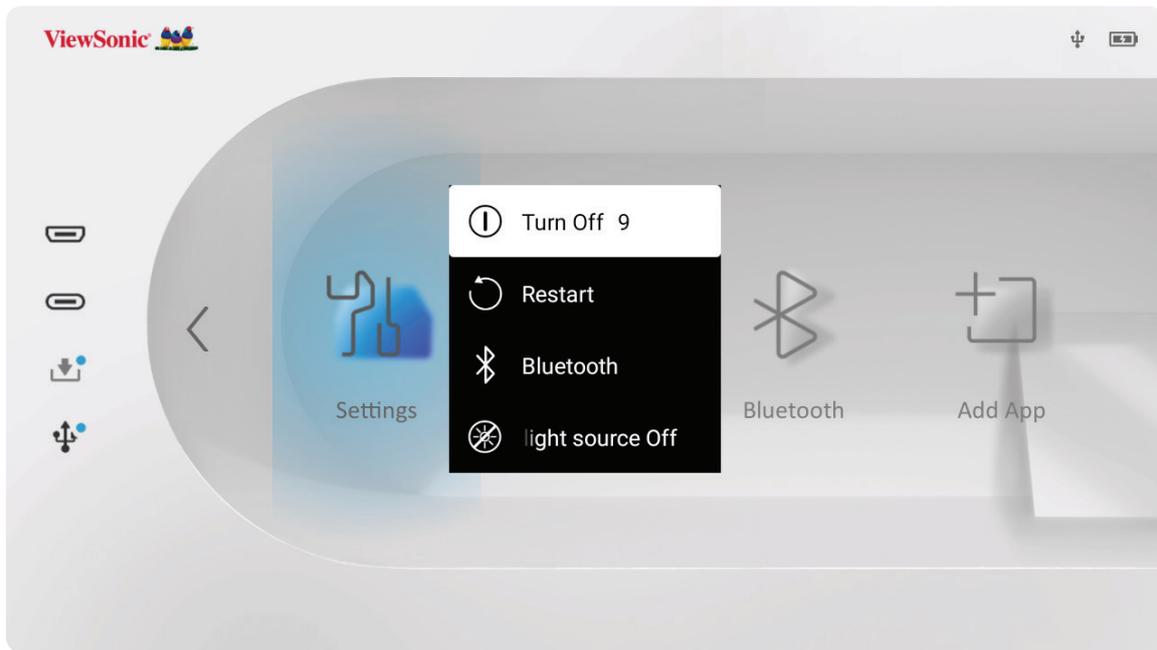
## Network Settings (ネットワーク設定)

利用可能なWi-Fiオプションの1つを選択してください。詳細については、21ページを参照してください。



# プロジェクターをシャットダウンする

1. リモコンの電源ボタンを押すと、次のメッセージが表示されます。



2. リモコンの上または下方向ボタンを使って、**Turn Off (オフにする)**を選択し、リモコンの**OK**を押します。

**注記：** 使用しないときは、電源ボタンを押して電源を切り、スマートスタンドを閉じてください。電源ボタンだけを使用して電源を切ると、プロジェクターはスタンバイモードになり、内蔵バッテリーはまだ電力を消費します。

## 選択された入力ソース - オンスクリーンディスプレイ (OSD) ツリー

入力ソースを選択したら、Image Setting (画像設定) およびAdvanced (詳細) メニューを調整できます。

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Image Setting	Color Mode	Brightest		
		TV		
		Movie		
		Low Blue Light		
	Brightness	(-/+, 0~100)		
	Contrast	(-/+, -50~50)		
	Color Temp	6500K		
		7500K		
		9300K		
		User	Red Gain	(-/+, 0~100)
			Green Gain	(-/+, 0~100)
			Blue Gain	(-/+, 0~100)
			Red Offset	(-/+, -50~50)
			Green Offset	(-/+, -50~50)
			Blue Offset	(-/+, -50~50)
		Wall Color - Pink		
	Wall Color - Yellow			
	Wall Color - Blue			
	Tint	(-/+, -50~50)		
	Saturation	(-/+, 0~100)		
	Sharpness	(-/+, 0~50)		
	Gamma	1.8		
		2.0		
		2.2		
		2.5		
	Light Source Level	Full		
Eco				
Battery Saving				
Test Pattern	OK			
Reset Current Color Settings	Yes			
	Cancel			

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Advanced	Aspect Ratio	Auto		
		4:3		
		16:9		
	HDMI Settings	Range	Auto	
			Full	
			Limited	
	3D Settings	3D Format	Disable	
			Frame Sequential	
			Frame Packing	
			Top-Bottom	
			Side-by-Side	
		3D Sync Invert	Disable	
	Invert			
	Audio Settings	Audio Mode	Movie	
			Music	
		Audio Volume	(-/+ , 0~50)	
		Mute	Disable	
	Enable			
Information	Source	Ex. HDMI		
	Resolution	Ex. 1920 x 1080 @60Hz		
	3D Format	Ex. Frame Packing		

## Image Setting (画像設定) メニュー

入力ソースを選択したら、Image Setting (画像設定) メニューを調整できます。

Image Setting (画像設定) メニューにアクセスするには：

1. リモコンのSetting (設定) を押します。



2. 上/下ボタンを使って、メニューを選択します。



3. 次に、**左/右**ボタンを使って、サブメニューに入る、および/または、設定を調整します。



4. **Return (戻る)** ボタンを押して、前のメニューに戻るか、終了します。

**注記：** USBデバイスソースは**画像設定**機能をサポートしていません。

メニューオプション	詳細
<p><b>Color Mode</b> <b>(カラーモード)</b></p>	<p>プロジェクターは、動作環境と入力信号に合わせて選択できるように、いくつかの定義済みピクチャモードでプリセットされています。</p> <p><b>Brightest (最も明るい)</b>          投影画像の明るさを最大にします。このモードは、非常に高い明るさが必要な環境、明るい部屋などに適しています。</p> <p><b>TV (テレビ)</b>          明るい環境でスポーツを見るために最適化されています。</p> <p><b>Movie (映画)</b>          カラフルな映画、デジタルカメラのビデオクリップ、またはPC入力によるDVに適しています。暗い場所での使用に最適です。</p> <p><b>Low Blue Light (低ブルーライト)</b>          刺激の強いブルーライトをフィルタリングし、ユーザーが更に快適に使用できるようにします。</p>
<p><b>Brightness (輝度)</b></p>	<p>値が大きいくほど、画像は明るくなります。値を小さくすると、画像が暗くなります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>0</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>50</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>100</p> </div> </div>
<p><b>Contrast</b> <b>(コントラスト)</b></p>	<p>選択した入力と視聴環境に合うように、<b>Brightness (輝度)</b> 設定を以前に調整した後で、これを使用してピークホワイトレベルを設定します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>0</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>50</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>100</p> </div> </div>

メニューオプション	詳細
<p><b>Color Temp</b> (色温度)</p>	<p>色温度を選択し設定することができます。</p> <p><b>6500K</b> 通常の白の着色を維持します。</p> <p><b>7500K</b> 6500Kより高い、より冷たい色温度。</p> <p><b>9300K</b> 最高の色温度。画像を最も青白く見せます。</p> <p><b>User Color (ユーザーカラー設定)</b> RGBの値をお好みに設定できます。</p> <p><b>注記：</b> 塗装済みの壁など、白色以外の表面に投影する場合、壁の色機能を使用して、投影された画像の色を修正し、ソース画像と投影画像の色の違いを解消できます。</p>
<p><b>Tint (色合い)</b></p>	<p>値が高いほど、画像は緑色が強くなります。値が低いほど、画像は赤色が強くなります。</p>
<p><b>Saturation (彩度)</b></p>	<p>ビデオ画像のその色の量を指します。設定を低くすると、彩度が低くなります。実際、「0」に設定すると、画像からその色が完全に削除されます。彩度が高すぎると、その色が圧倒的になり、非現実的になります。</p>
<p><b>Sharpness</b> (シャープネス)</p>	<p>値が大きいほど鮮明な画像になります。低い値では画像が柔らかくなります。</p>
<p><b>Gamma</b> (ガンマ調整)</p>	<p>入力ソースと画像輝度の関係を反映しています。</p>
<p><b>Light Source Level</b> (光源レベル)</p>	<p>LEDの適切な消費電力を選択します。</p> <p><b>Full (フル)</b> 100% 節約モード。</p> <p><b>Eco (エコ)</b> 70% 節約モード。</p> <p><b>Battery Saving (電池節約)</b> 30% 節約モード。</p>
<p><b>Test Pattern</b> (テストパターン)</p>	<p>プロジェクターの色表示をテストします。</p>
<p><b>Reset Current Color Settings</b> (現在の色設定をリセット)</p>	<p>現在の色設定をデフォルト値に戻します。</p>

## Advanced (詳細) 設定メニュー

入力ソースを選択したら、Advanced (詳細) メニューを調整できます。

Advanced (詳細) メニューにアクセスするには：

1. リモコンのSetting (設定) を押します。



2. 右ボタンを押して、Advanced (詳細) メニューにアクセスします。



3. 上/下ボタンを使って、メニューを選択します。



4. 次に、左/右ボタンを使って、サブメニューに入る、および/または、設定を調整します。

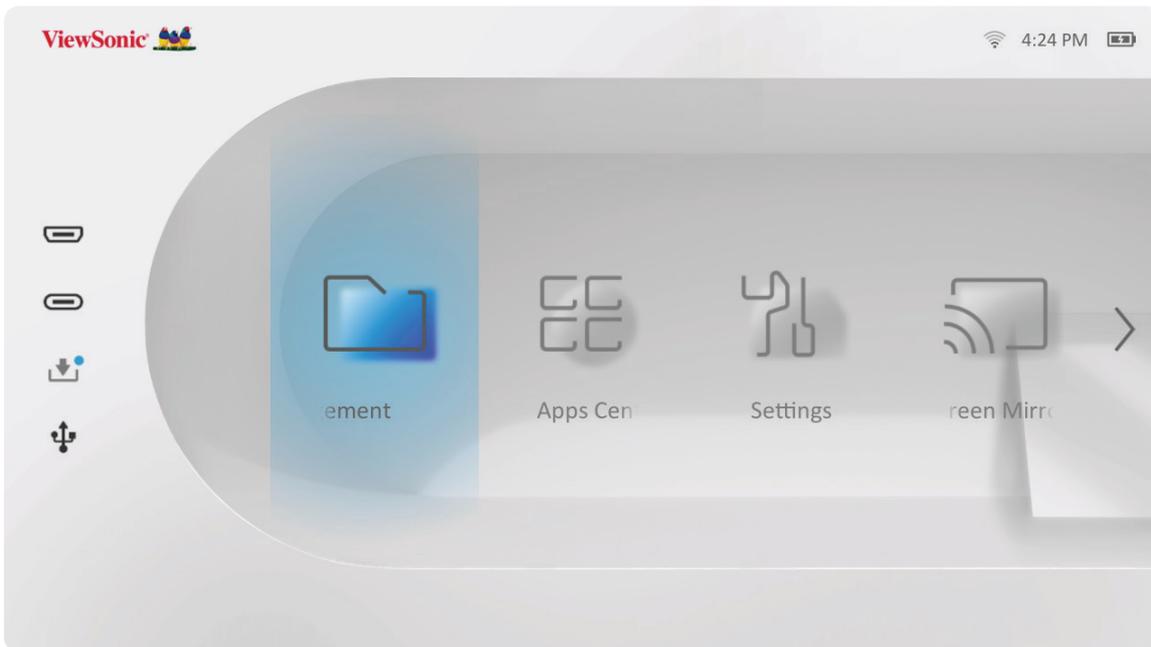
5. Return (戻る) ボタンを押して、前のメニューに戻るか、終了します。

メニューオプション	詳細								
<p><b>Aspect Ratio (アスペクト比)</b></p>	<p>アスペクト比は、画像の幅と画像の高さの比です。デジタル信号処理の出現により、このプロジェクターのようなデジタル表示装置は、画像入力信号とは異なるアスペクトに画像出力を動的に伸縮させることができます。</p> <p><b>注記：</b> HDMI/USB C信号入力にのみ対応しています。</p> <p><b>Auto (自動)</b> プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3でも16:9でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。</p> <p><b>4:3</b> 4:3のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および4:3アスペクト比のDVDムービーのような4:3画像に最適です。</p> <p><b>16:9</b> 16:9のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに16:9のアスペクト比の画像に最適です。</p>								
<p><b>HDMI Settings (HDMI設定)</b></p>	<p><b>Range (範囲)</b> 接続している出力機器の色域設定に応じて、適切な色域を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="541 1184 1423 1453"> <thead> <tr> <th data-bbox="541 1184 807 1245">範囲</th> <th data-bbox="807 1184 1423 1245">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="541 1245 807 1341">Auto (自動)</td> <td data-bbox="807 1245 1423 1341">入力信号の範囲を自動的に検出するようにプロジェクターを設定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="541 1341 807 1402">Full (フル)</td> <td data-bbox="807 1341 1423 1402">色範囲を0～255に設定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="541 1402 807 1453">Limited (限定)</td> <td data-bbox="807 1402 1423 1453">色範囲を15～235に設定します。</td> </tr> </tbody> </table>	範囲	詳細	Auto (自動)	入力信号の範囲を自動的に検出するようにプロジェクターを設定します。	Full (フル)	色範囲を0～255に設定します。	Limited (限定)	色範囲を15～235に設定します。
範囲	詳細								
Auto (自動)	入力信号の範囲を自動的に検出するようにプロジェクターを設定します。								
Full (フル)	色範囲を0～255に設定します。								
Limited (限定)	色範囲を15～235に設定します。								
<p><b>3D Settings (3D設定)</b></p>	<p>画像の奥行きを表現することで、3Dメガネをかけながら、よりリアルな方法で3D映画、ビデオ、スポーツイベントを楽しむことができます。</p> <p><b>3D Format (3D形式)</b> Off (オフ)、Frame Sequential (フレームシーケンシャル)、Frame Packing (フレームパッキング)、Top-Bottom (トップ・ボトム)、Side-by-Side (サイド・バイ・サイド) から調整および選択します。</p> <p><b>3D Sync Invert (3D同期反転)</b> 3D画像の奥行きが反転している場合は補正できます。</p>								
<p><b>Audio Settings (オーディオ設定)</b></p>	<p>音声設定を調整します。</p>								
<p><b>Information (インフォメーション)</b></p>	<p>入力ソース、解像度、3D形式を表示します。</p>								

# メニュー操作

## Home Screen (ホーム画面)

プロジェクターを起動するたびに、Home Screen (ホーム画面)が表示されます。Home Screen (ホーム画面)に移動するために、リモコンの方向ボタンを使用します。どのページが表示されている場合でも、リモコンのHome Screen (ホーム)ボタンを押すことにより、いつでもメインHome Screen (ホーム画面)に戻ることができます。



メニュー	詳細
File Management (ファイル管理)	ファイルおよびフォルダを管理するためのユーザーインターフェイスを提供します。
Apps Center	インストールされているすべてのアプリケーションにアクセスして表示します。
Bluetooth	適切なBluetoothモードを選択します。
Settings (設定)	Network settings (ネットワーク設定)、Basic and Advanced settings (基本および詳細設定)、Date & Time (日時)、Firmware update (ファームウェア更新)、System Information (システム情報)などのさまざまなカテゴリを管理します。
Screen Mirroring (画面ミラーリング)	プロジェクターを通して、個人用デバイスの画面をミラーリングします。
Add App (アプリを追加)	お気に入りのアプリを選択し、それらをHome Screen (ホーム画面)に追加します。

# Home Screen (ホーム画面) - オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューツリー

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
File Management					
Apps Center					
Settings	Network Settings	Wi-Fi	Disable		
			Enable	SSID:	
				Configure IP	
				IP Address	
				Subnet Mask	
				Default Gateway	
				DNS Server	
	Others				
	Date & Time	Automatic Date & Time	Disable		
			Enable		
		Date			
		Time			
		Time Zone			
Time Format		12 hours			
	24 hours				

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Settings	Basic Settings	Language	English	
			French	
			German	
			Italian	
			Spanish	
			Russian	
			繁體中文	
			簡體中文	
			日本語	
			韓国語	
			Swedish	
			Dutch	
			Turkish	
			Czech	
			Portuguese	
			Thai	
			Polish	
			Finnish	
			Arabic	
			Indonesian	
			Hindi	
		Vietnam		
		Greek		
		Hungarian		
		Projector Projection	Front Table	
			Front Ceiling	
			Rear Table	
			Rear Ceiling	
		Keystone	Auto V Keystone	Disable
				Enable
			V Keystone	(-/+, -40~40)
			H Keystone	(-/+, -40~40)
			4 Corner	Disable
	Enable			
	4 Corner Adjustment	OK		

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
Settings	Basic Settings	Zoom	0.8x		
			0.9x		
			1.0x		
		Test Pattern	OK		
	Advanced Settings	Power On Source	Disable		
			HDMI		
			USB C		
		Power On Ring Tone	Disable		
			Enable		
		Smart Energy	Auto Power Off	Disable	
				10 minutes	
				20 minutes	
				30 minutes	
			Sleep Timer	Disable	
				30 minutes	
				1 hour	
				2 hours	
				3 hours	
				4 hours	
		Power Saving	8 hours		
			12 hours		
			Enable		
			Disable		
		Audio Settings	Audio Mode	Movie	
			Music		
	Audio Volume		(-/+ , 0~50)		
	Light Source Level	Mute	Disable		
			Enable		
		Full			
	Eco				
Battery Saving					
Screen Saver	Disable				
	Enable				

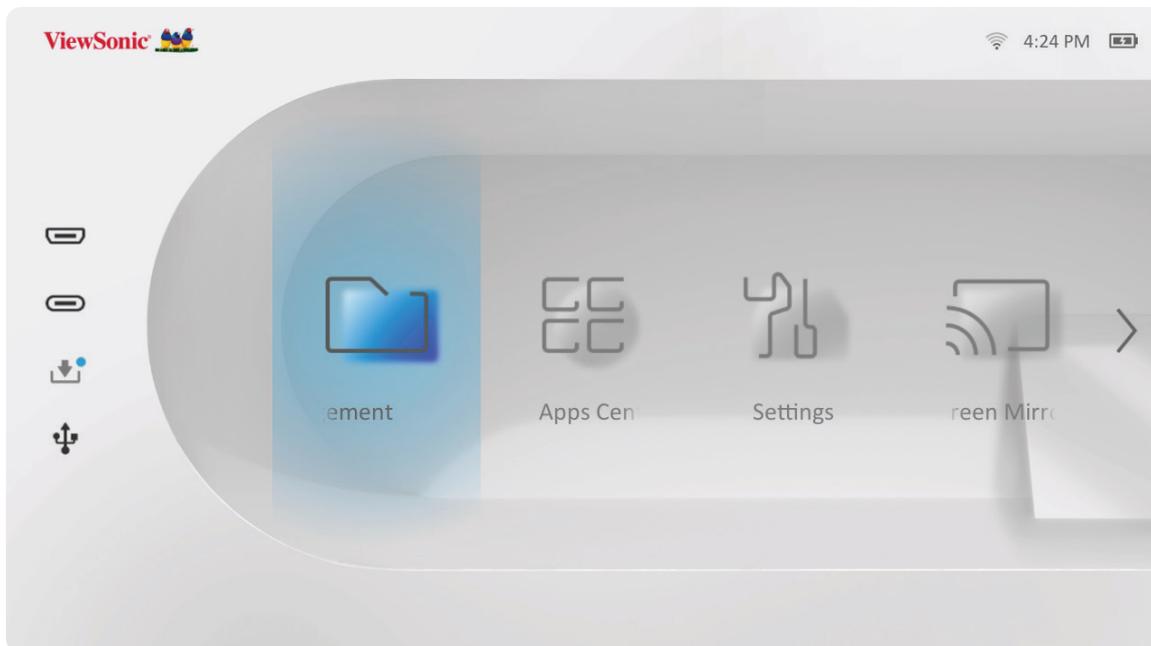
メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
<b>Settings</b>	Advanced Settings	Power Bank Mode	Disable		
			Enable		
		High Altitude Mode	Disable		
			Enable		
	Reset Settings	OK			
	Reset to Factory Default	OK			
	Firmware Upgrade	Software Update Online			
		Software Update by USB			
		OTA Reminder	Enable		
			Disable		
	Software Version				
	Information	Light Source Hours			
					System Version
		Memory Information	XX GB of XX GB Used		
		Wi-Fi Mac Address			
Serial Number					
<b>Screen Mirroring</b>					
<b>Bluetooth</b>					
<b>Add App</b>					
<b>Add App</b>					
<b>Add App</b>					
<b>Add App</b>					

# メニュー操作

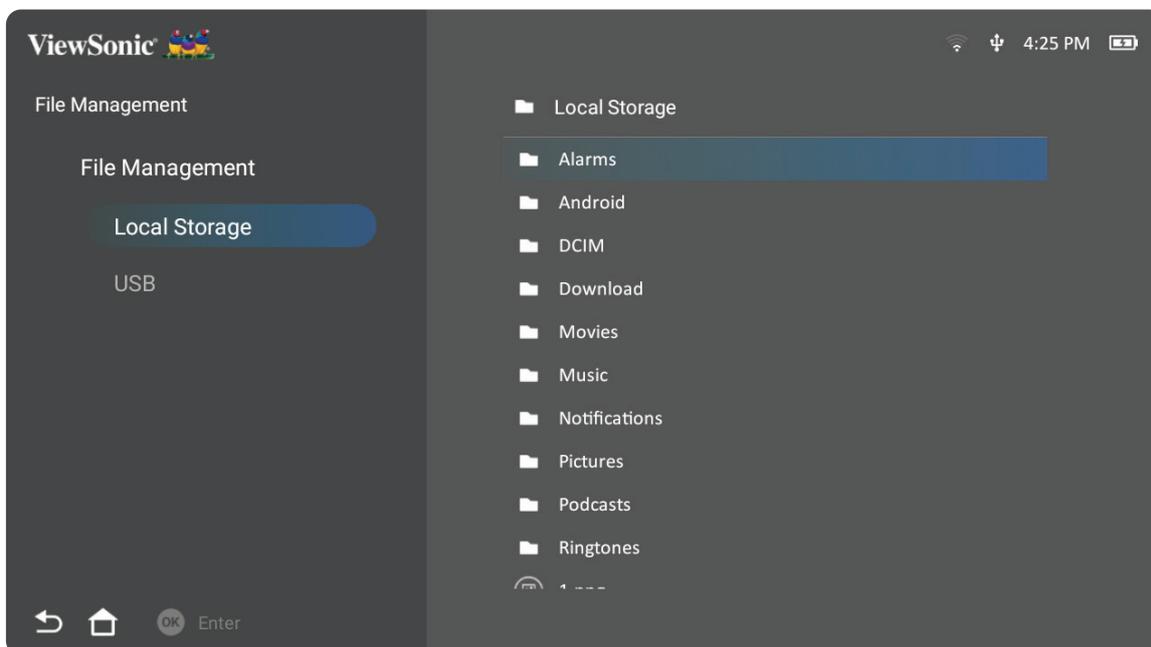
## File Management (ファイル管理)

ファイルとフォルダを簡単に管理します。

1. 以下を選択します：**Home Screen (ホーム)** > **File Management (ファイル管理)**。



2. ソースリストからデバイスを選択します。方向ボタンを使って、希望のファイルを選択します。次に、リモコンの**OK**を押して、選択したファイルを開きます。

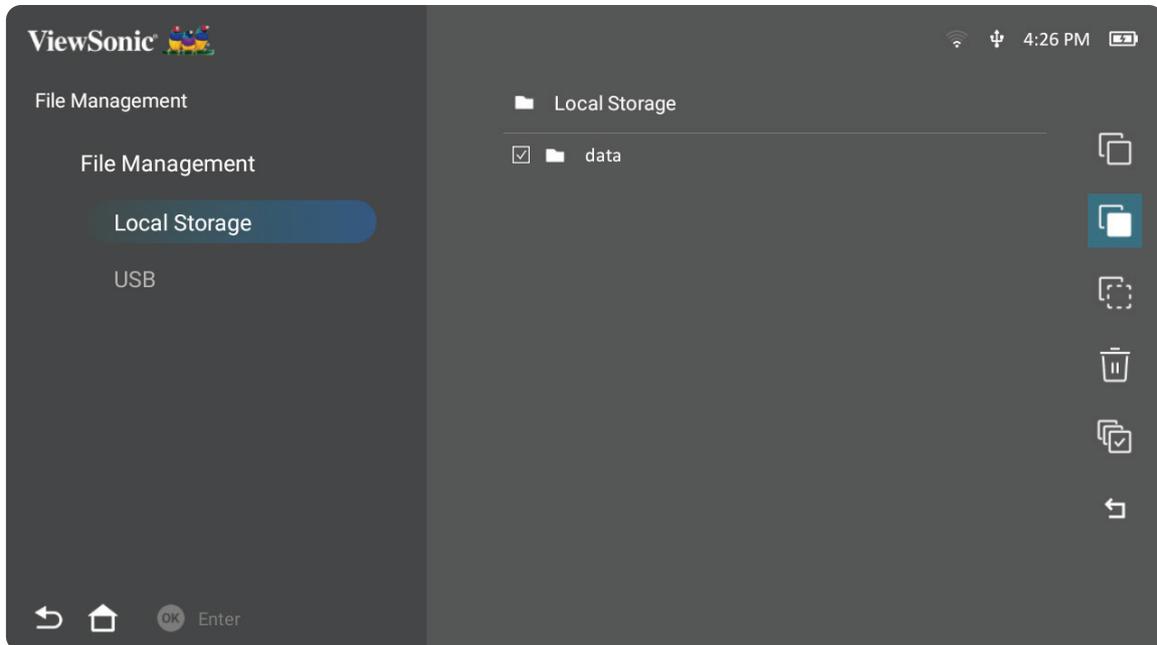


3. **戻る**ボタンを押して、前のレベルに移動します。

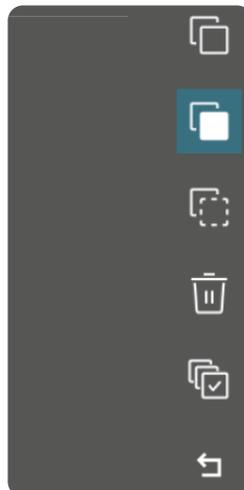
**注記：** リモコンの**Home Screen (ホーム)** ボタンを押して、いつでも**Home Screen (ホーム)** に戻ることができます。

## ファイルを編集する方法

1. **File Management (ファイル管理)**が表示されている間に、**OK**ボタンを3秒間長押しします。
2. 各ファイルの前にチェックボックスが表示されます。方向ボタンを使って、**OK**を押し、1つ以上のファイルを選択します。



3. **右**ボタンを押すと、Copy (コピー)、Paste (貼り付け)、Cut (切り取り)、Delete (削除)、Select All (すべて選択)、Return (戻る)が使用可能です。



4. 目的の操作を選択し、**OK**を押して、実行します。
5. コピーまたは切り取りを実行している場合は、宛先フォルダを選択して、プロセスを完了させてください。

## メディアコントロールバーのボタンの使用方法

開くビデオ、音楽、または写真ファイルが選択されている場合、メディアコントロールバーのボタンがスクリーンに表示されます。

ピクチャ		ビデオ		音楽	
	戻る		戻る		戻る
	再生		巻戻し		再生
	次へ		再生		一時停止
	ズームイン		一時停止		次へ
	ズームアウト		早送り		シャッフル
	回転(左)		次へ		すべて繰り返し
	回転(右)				1つを繰り返し
	インフォメーション				再生リスト
					インフォメーション

## USB使用に関するヒント

読み取りおよび/または保存にUSBを使用する場合は、次の点に注意してください。

1. USBストレージデバイスによっては互換性がない場合があります。
2. USB延長ケーブルを使用すると、USBデバイスがUSBを認識しない場合があります。
3. Windows FAT32またはNTFSファイルシステムでフォーマットされたUSBストレージデバイスのみを使用してください。
4. 大きいファイルは、読み込みに時間がかかります。
5. USBストレージデバイス上のデータが破損または消失する可能性があります。重要なファイルをバックアップしてください。

## サポートされるファイル形式

### マルチメディア形式

拡張子	タイプ	コーデック
.avi	音声	MP3
.mp4 .m4v .mov	ビデオ	H.264/MPEG-4
.mkv	ビデオ	H.264
.ts	ビデオ	H.264, MPEG-2
.trp .tp .mts .m2ts	音声	MP3
.vob	ビデオ	MPEG-1, MPEG-2
	音声	DVD-LPCM
.mpg	ビデオ	MPEG-1

## Office形式

		項目	インジケータ	
I.	文書閲覧機能	1	doc/docx	doc/docxの文書を開いて読むことができます
		2	xls/xlsx	xls/xlsxの文書を開いて読むことができます
		3	ppt/pptx	ppt/pptxの文書を開いて読むことができます
		4	Pdf	pdfの文書を開いて読むことができます
II.	サポートするインターフェイス言語	1	サポートするインターフェイス44言語	英語、簡体字中国語、中国語 (TW)、中国語 (HK)、スペイン語 (LA)、フランス語 (EU)、ポルトガル語 (EU)、ポルトガル語 (BR)、ドイツ語、ロシア語、イタリア語、スウェーデン語、スペイン語 (EU)、韓国語、アラビア語、ペルシア語、セルビア語、ボスニア語、マケドニア語、ブルガリア語、ウクライナ語、ギリシャ語、ノルウェー語、デンマーク語、チェコ語、ハンガリー語、スロバキア語、ポーランド語、ルーマニア語、フィンランド語、エストニア語、ラトビア語、リトアニア語、イギリス英語、スロベニア語、クロアチア語、トルコ語、ベトナム語、インドネシア語、オランダ語、マレー語、タイ語、ヒンディー語、ヘブライ語、ビルマ語、カタロニア語。

## サポートされる写真の形式

形式	タイプ	最大解像度
.jpg/.jpeg	プログレッシブ JPEG	7680 x 4320
	ベースライン JPEG	7680 x 4320
.bmp		9600 x 6400
.png		7680 x 4320

## サポートされる外部接続デバイスの形式

デバイス	サポートサイズ (最大サイズ)	NTFSフォーマット		FAT32フォーマット		exFAT	
		読み取り	書き込み	読み取り	書き込み	読み取り	書き込み
USBメモリスティック	256 GB	○	N/A	○	○	N/A	N/A
USB HDD	2 TB	○	N/A	○	○	N/A	N/A

### 注記：

- Windows 10内蔵のフォーマットツールは、32GBまでのFAT32フォーマットをサポートします。
- ファームウェアアップグレードは、FAT32フォーマットのみをサポートします。

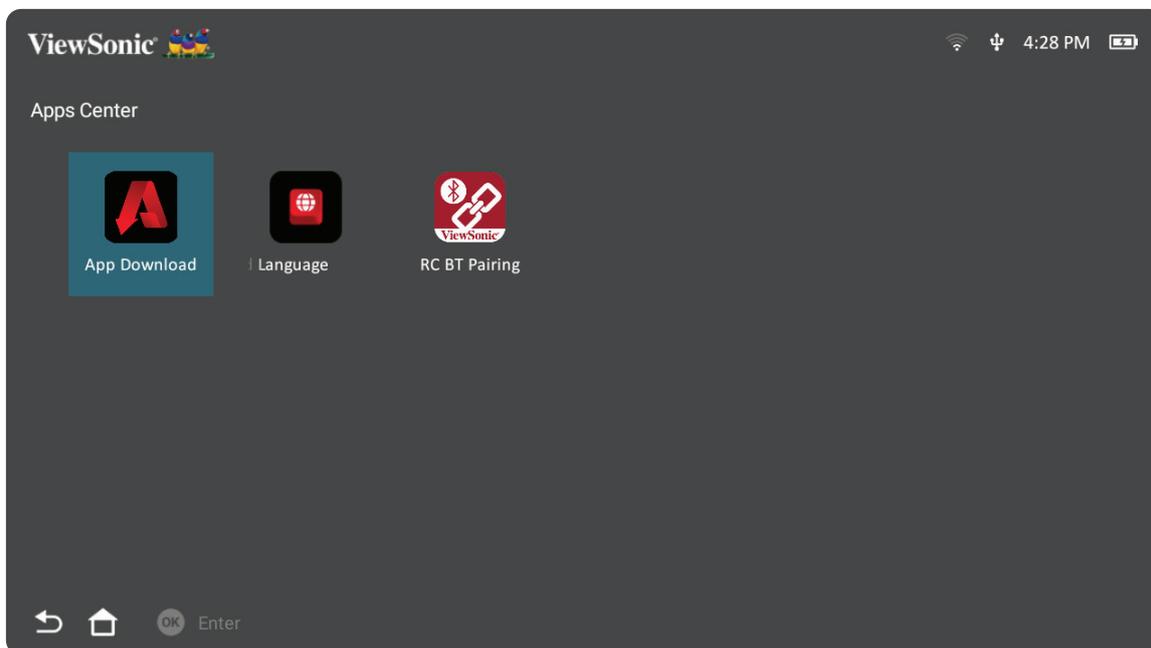
## Apps Center

アプリを表示、起動、アンインストールします。

1. アプリを表示するには、以下を選択します：**Home (ホーム) > Apps Center**。



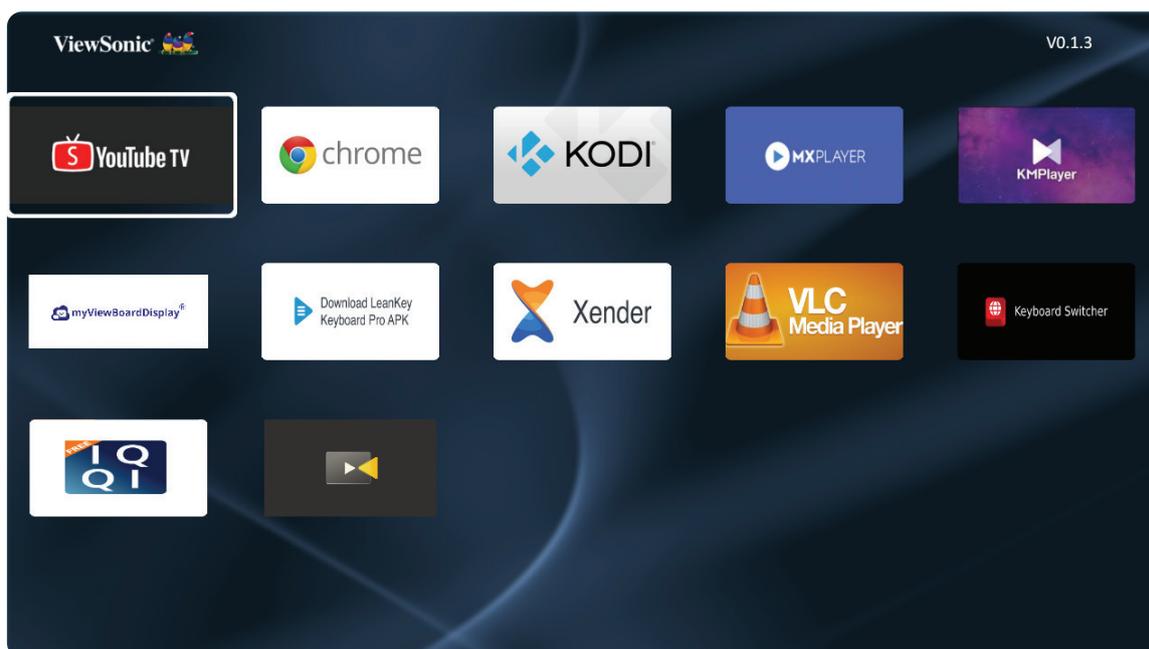
2. 方向ボタンを使って、希望のアプリを選択します。次に、リモコンの**OK**を押して、アプリを起動します。



**注記：** リモコンの**Home (ホーム)** ボタンを押して、いつでも**Home Screen (ホーム画面)**に戻ることができます。

## ViewSonicアプリのダウンロード

方向ボタンを使って、メニューオプションを移動します。希望のアプリが見つかったら、リモコンのOKボタンを押して、アプリをインストールします。

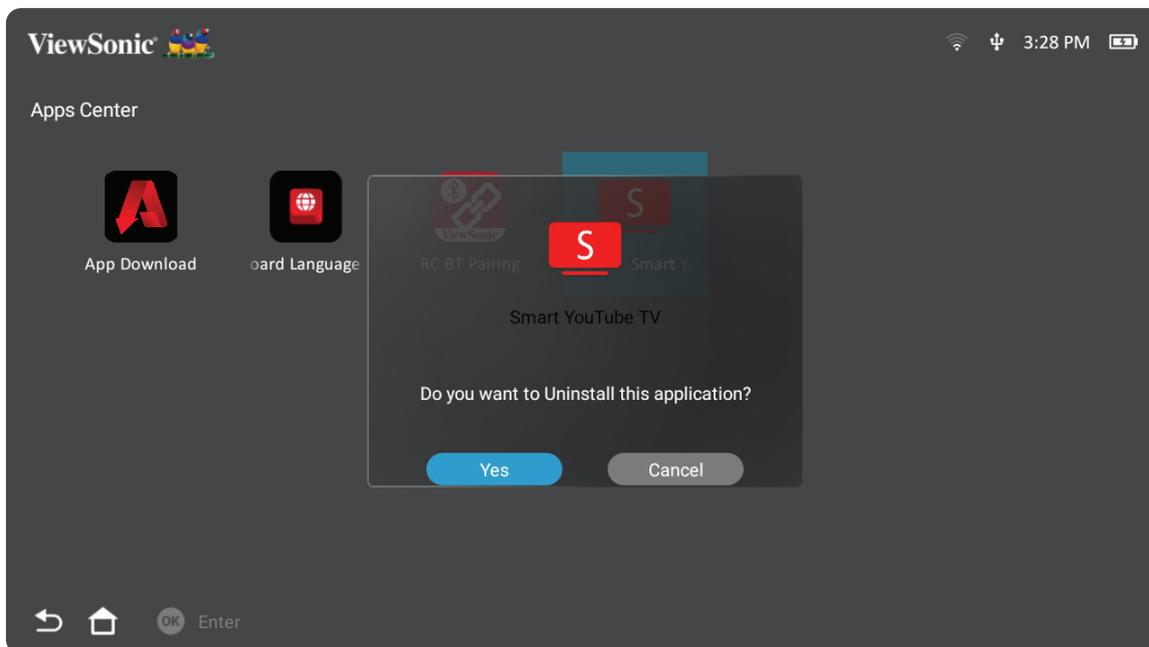


### 注記：

- **File Management (ファイル管理)** の.apkファイルにより、サードパーティ製アプリをインストールできます。しかし、一部のサードパーティ製アプリには互換性の問題がある可能性があります。
- ViewSonicによってプリロードされていないアプリは、互換性がないか、正常に動作しない可能性があります。
- 一部のアプリでは、キーボードまたはマウスが必要になる場合があります。
- 一部のアプリは地域固有の場合があります。

## アプリをアンインストールするには

1. 以下を選択して、**Apps Center**を開きます：**Home (ホーム)** > **Apps Center**。
2. 方向ボタンを使って、希望のアプリを選択します。
3. リモコンの**OK**ボタンを3秒間長押しします。以下のダイアログボックスが表示されます：

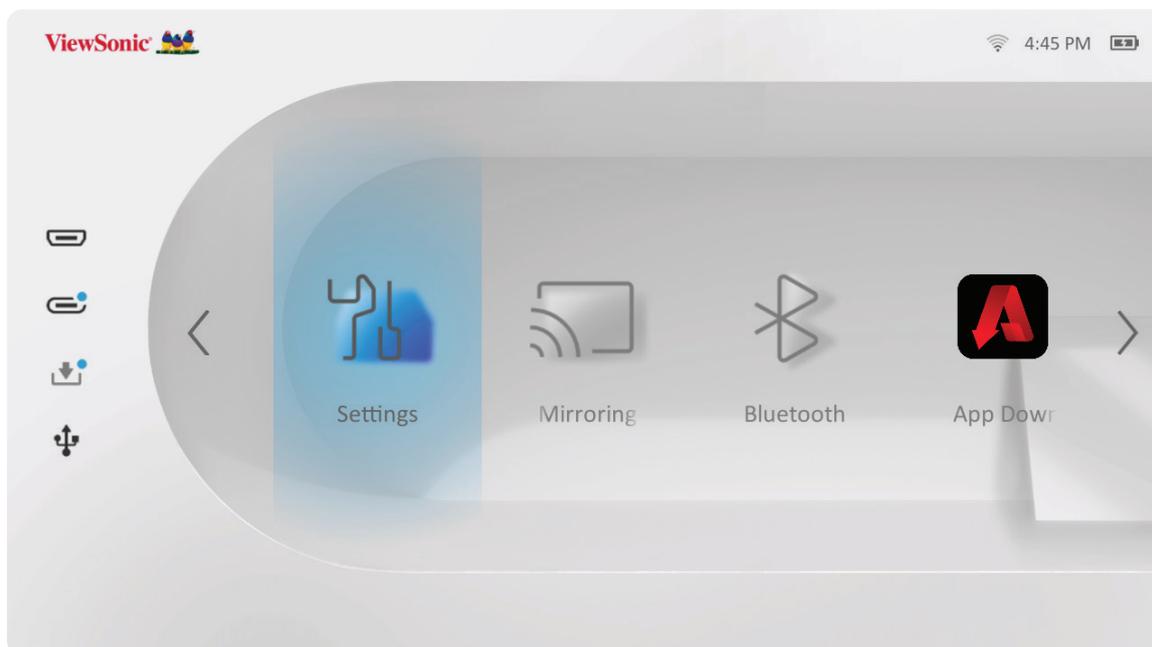


4. **Yes (はい)**を選択して、アプリをアンインストールします。

**注記：** リモコンの**Home (ホーム)**ボタンを押して、いつでも**Home Screen (ホーム画面)**に戻ることができます。

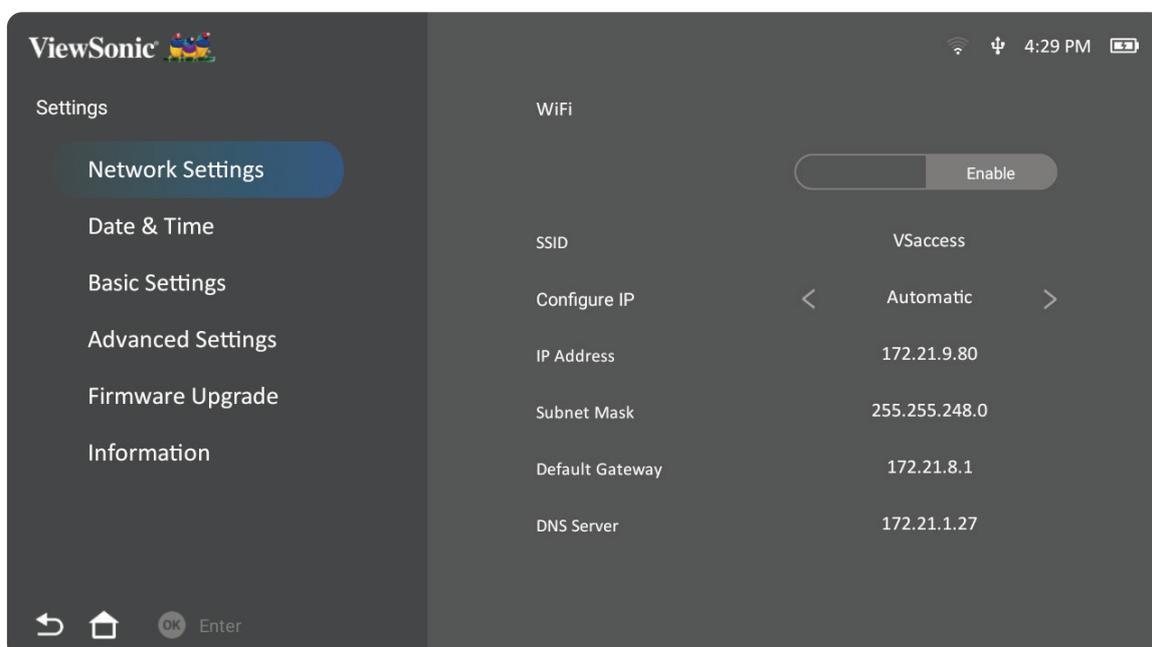
## Settings (設定)

Settings (設定) の下で、Network (ネットワーク)、Basic Settings (基本設定)、Advanced Settings (詳細設定)、Date & Time (日時)、Firmware Update (ファームウェア更新) を調整し、Information (情報) を表示できます。

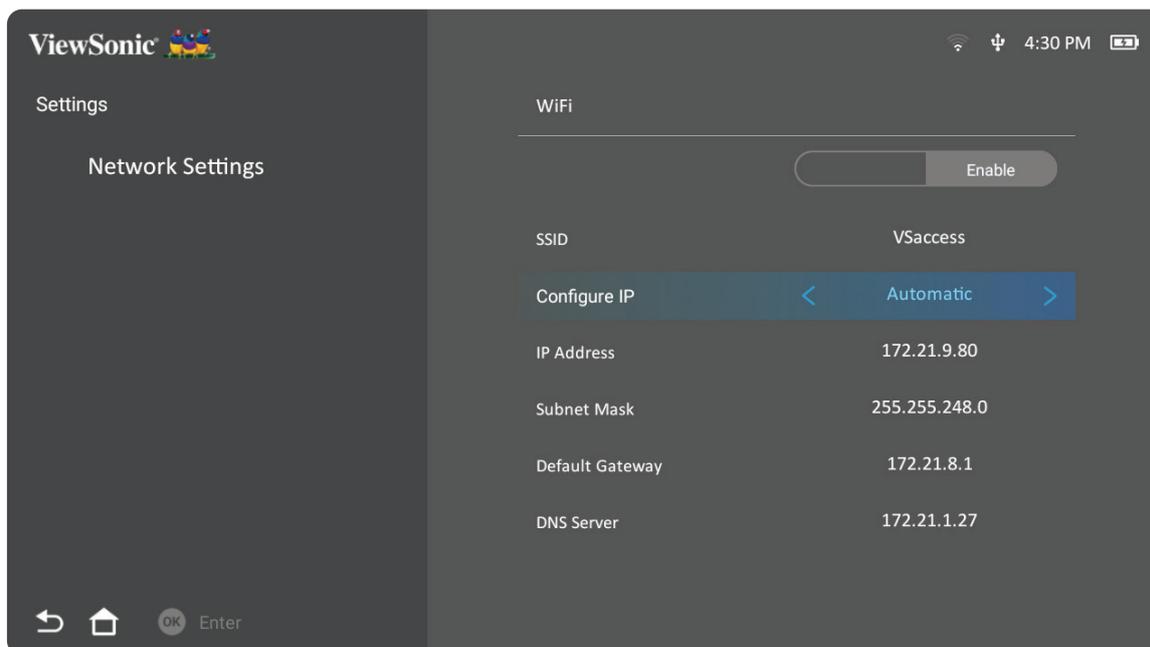


## Network Settings (ネットワーク設定)

1. 以下を選択します：Home (ホーム) > Settings (設定) > Network Settings (ネットワーク設定)。



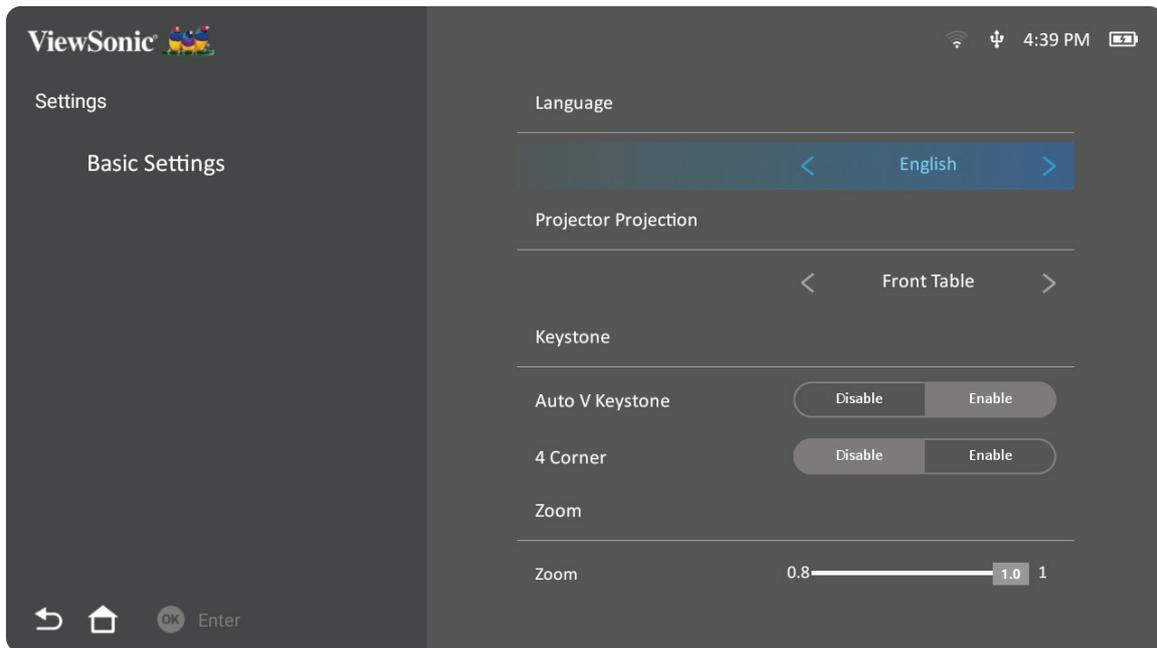
## 2. Wi-Fiおよびネットワーク設定を確認・調整します。



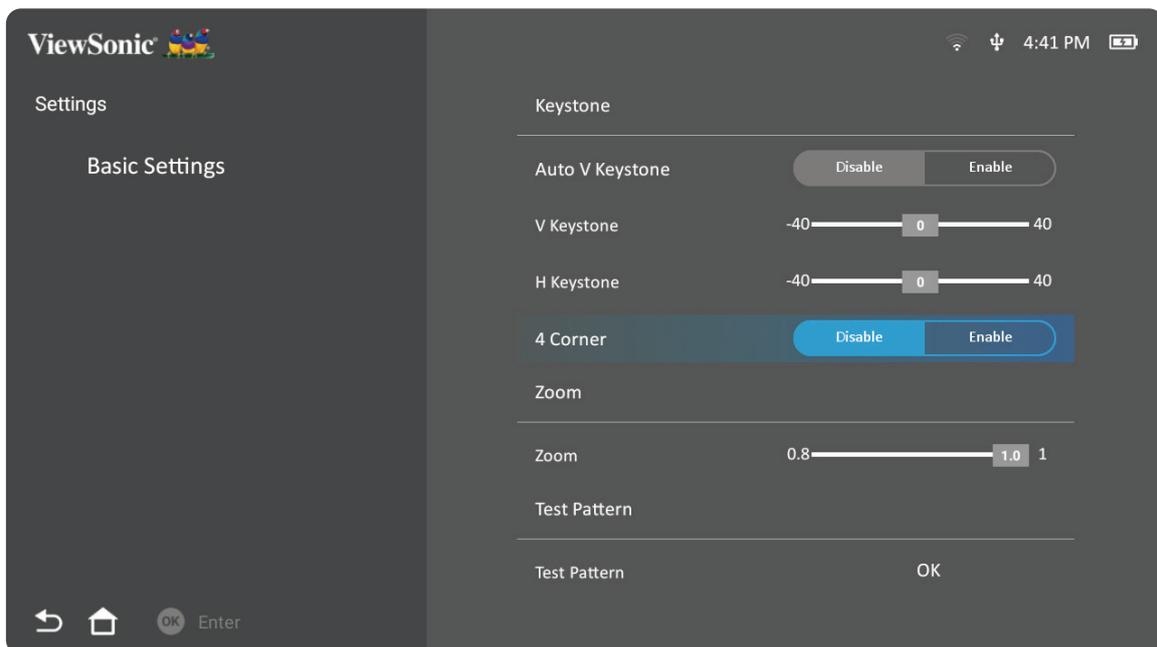
3. ワイヤレス接続を設定する場合は、21ページの「ネットワークに接続する」を参照してください。

## Basic Settings (基本設定)

1. 以下を選択します：**Home (ホーム) > Settings (設定) > Basic Settings (基本設定)**。



2. **上**および**下**ボタンを使って、希望のオプションを選択し、**OK**を押します。次に、**左**および**右**ボタンを使って、調整または変更を行います。



3. 前のメニューに戻るには、**戻る**ボタンを押します。

メニュー	詳細
Language (言語選択)	希望の言語を選択します。
Projector Position (プロジェクターの位置)	好ましい投影位置を選択します。

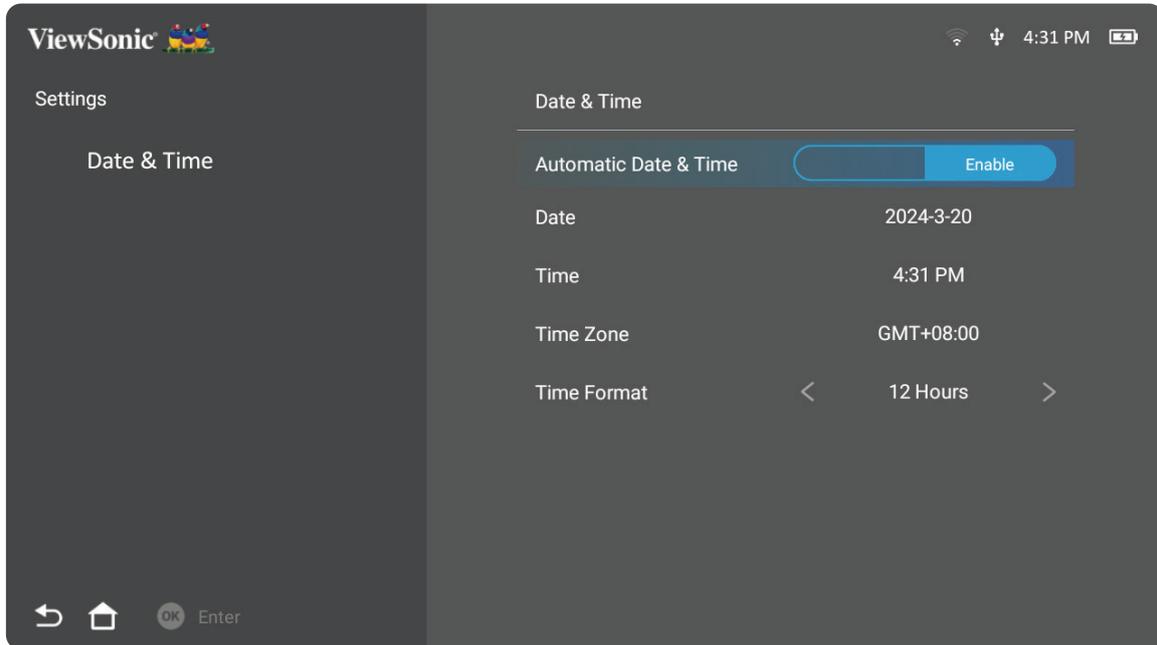
メニュー	詳細
<p style="text-align: center;"><b>Keystone (キーストーン)</b></p>	<p>台形スクリーンの画像のゆがみを調整します。</p> <p><b>Auto V Keystone (自動垂直キーストーン)</b>  プロジェクターの傾きによって台形のスクリーン画像が表示されたときにキーストーン値を自動的に調整して、長方形のスクリーン画像を表示します。</p> <p><b>Enable (オン)</b>：キーストーン値を自動的に調整します。</p> <p><b>Disable (オフ)</b>：キーストーン値を手動で調整します。</p> <p><b>V Keystone (垂直キーストーン)</b>  キーストーンでは、垂直方向のみを手動で調整できます。</p> <p><b>H Keystone (水平キーストーン)</b>  キーストーンでは、水平方向のみを手動で調整できます。</p> <p><b>4 Corner (4コーナー)</b>  オンまたはオフ 4コーナー調整</p> <p><b>4 Corner Adjustment (4コーナー調整)</b>  投影を最大限柔軟に行えるように、各コーナーを個別に調整します。</p>
<p style="text-align: center;"><b>Zoom (ズーム)</b></p>	<p>デジタルズームの設定を調整します。</p>
<p style="text-align: center;"><b>Test Pattern (テストパターン)</b></p>	<p>プロジェクターの色表示をテストする、および/または投影画像のフォーカスを調整します。</p>

## Date & Time (日時)

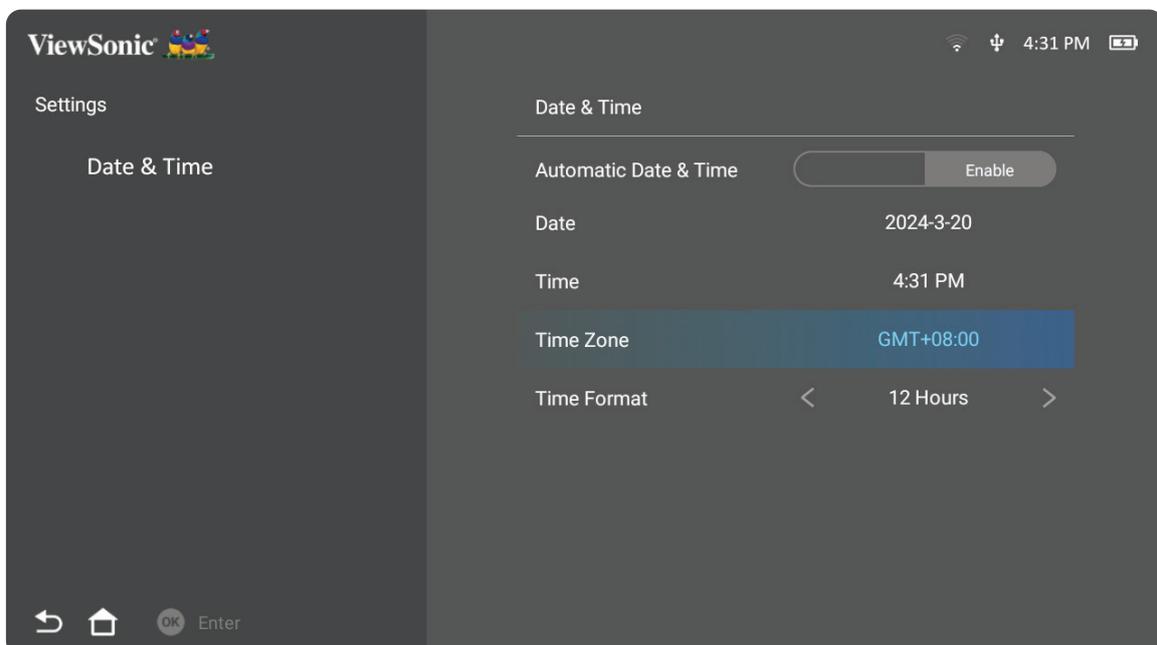
Date (日付)、Time (時刻)、Time Zone (タイムゾーン)、Time Format (時刻形式) を調整します。

**注記：** インターネットに接続した後、時刻が右上隅に表示されます。

1. 以下を選択します：**Home (ホーム) > Settings (設定) > Date & Time (日時)**。



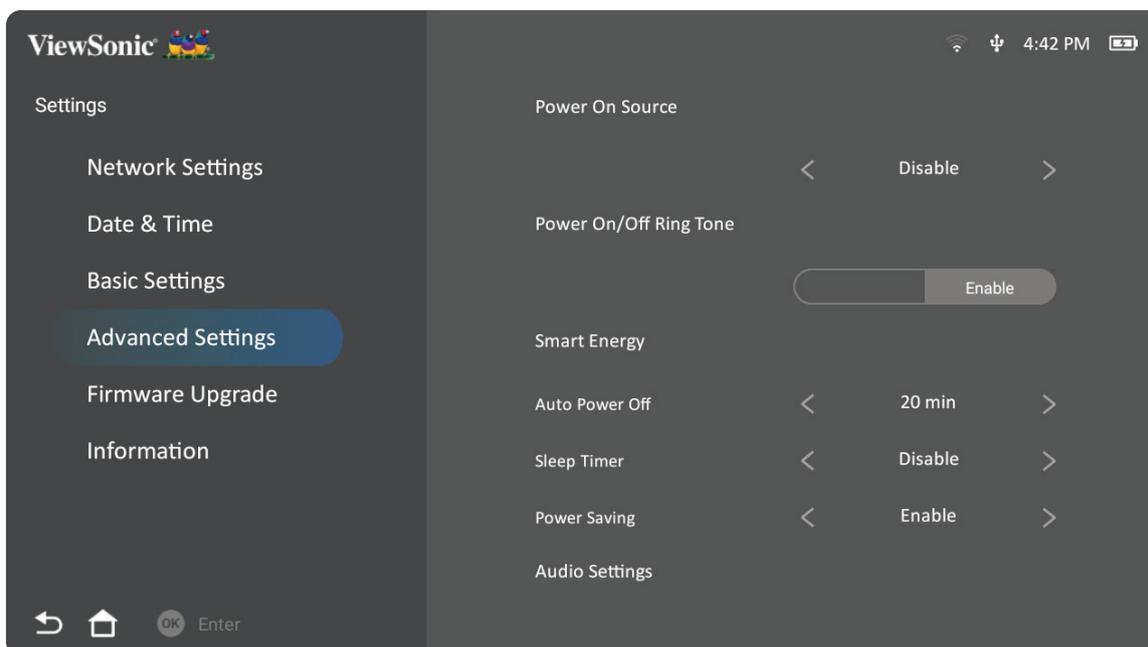
2. **上**および**下**ボタンを使って、希望のオプションを選択し、**OK**を押します。次に、**左**および**右**ボタンを使って、調整または変更を行います。



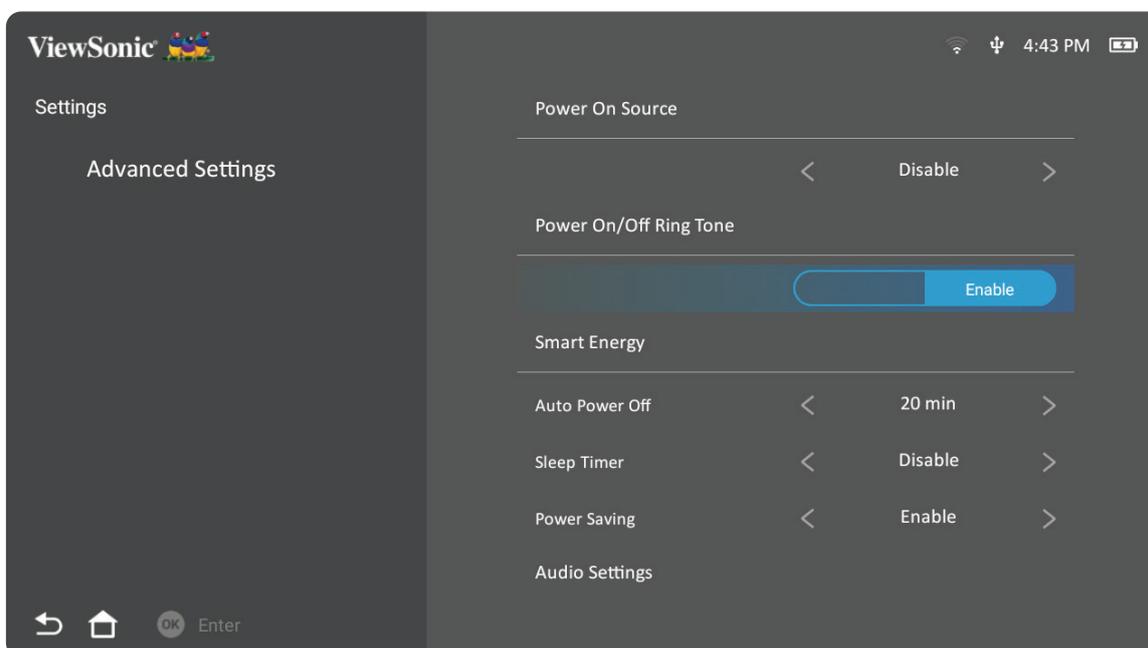
メニュー	詳細
<b>Automatic Date &amp; Time</b> <b>(自動日時)</b>	インターネットに接続した後に、日付と時刻を自動的に同期させます。 <u><b>Enable (オン)</b></u> 同期をオンにします。 <u><b>Disable (オフ)</b></u> 同期をオフにします。
<b>Date (日付)</b>	ネットワークに接続すると、日付が自動的に調整されます。
<b>Time (時刻)</b>	ネットワークに接続すると、時刻が自動的に調整されます。
<b>Time Zone</b> <b>(タイムゾーン)</b>	希望のタイムゾーンを選択します。
<b>Time Format</b> <b>(時刻形式)</b>	別の表示時刻形式を選択します。 <u><b>12 Hours (12時間)</b></u> 12時間制。 <u><b>24 Hours (24時間)</b></u> 24時間制。

## Advanced Settings (詳細設定)

1. 以下を選択します：Home (ホーム) > Settings (設定) > Advanced Settings (詳細設定)。

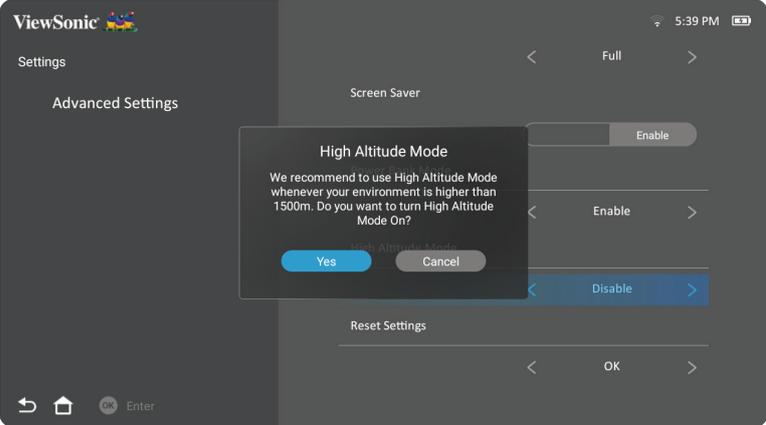


2. 上および下ボタンを使って、希望のオプションを選択し、OKを押します。次に、左および右ボタンを使って、調整または変更を行います。



3. 前のメニューに戻るには、Return (戻る) ボタンを押します。

メニュー	詳細
Power On Source (電源オンソース)	プロジェクターの電源を入れた直後に、希望のソースを入力します。
Power On Ring Tone (電源オンの呼び出し音)	電源オンの呼び出し音を有効または無効にします。
Smart Energy (スマートエネルギー)	<p><b>Auto Power Off (自動電源オフ)</b> 入力ソースが検出されなくなると、設定した時間が経過するとプロジェクターは自動的にオフになります。</p> <p><b>Sleep Timer (スリープタイマー)</b> 設定した時間が経過すると自動的にオフになります。</p> <p><b>Power Saving (省エネ)</b> 5分後に入力ソースが検出されない場合は、消費電力が少なくなります。</p> <p><b>注記：</b> 信号が5分間検出されないとき、LEDの消費電力は30%に変更されます。</p>
Audio Settings (オーディオ設定)	<p><b>Audio Mode (オーディオモード)</b> <b>Movie (映画)：</b> デフォルトの音声モードです。 <b>Music (音楽)：</b> 音楽再生用に最適化されています。</p> <p><b>Audio Volume (音量)</b> 音量を0から50に調整します。</p> <p><b>Mute (ミュート)</b> 音量をミュートまたはミュート解除します。</p>
Light Source Level (光源レベル)	LEDの適切な消費電力を選択します。
Screen Saver (スクリーンセーバー)	ホームページやフォルダーページでは、5分以内に何も操作しないとスクリーンセーバーと時刻表示が作動します。
Power Bank Mode (モバイルバッテリーモード)	<p>プロジェクターの電源オンまたは充電を有効または無効にします。</p> <p><b>注記：</b> モバイルバッテリーは少なくとも45W (15V/3A) で、Power Delivery (PD) プロトコル出力をサポートしている必要があります。</p>

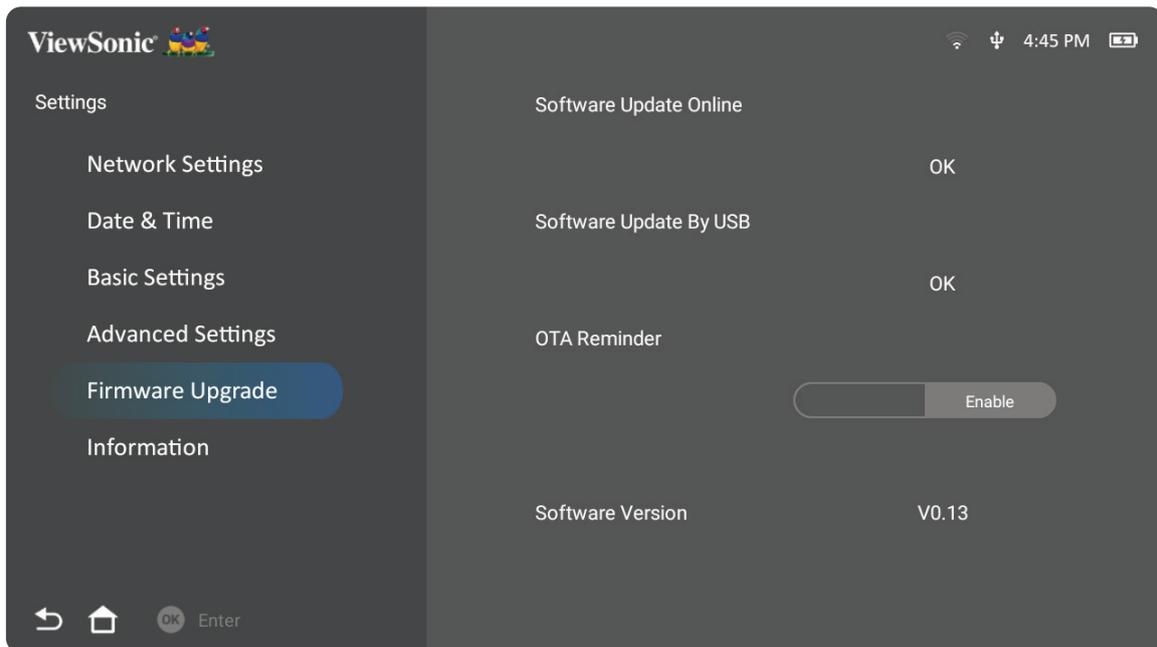
メニュー	詳細
<p><b>High Altitude Mode (高地モード)</b></p>	<p>環境が海拔1,500~3,000 m、気温が5°C~25°Cの場合は、高地モードを使用することをお勧めします。</p>  <p><b>注記：</b> 上記以外の極端な条件下でこのプロジェクターを使用すると、プロジェクターが過熱から保護されるように設計された自動シャットダウンの症状が現れることがあります。このような場合は、これらの症状を解決するために高地モードに切り替える必要があります。ただし、これは、このプロジェクターがあらゆる過酷または極端な条件下でも動作できることを示すものではありません。</p>
<p><b>Reset Settings (設定をリセット)</b></p>	<p>設定をデフォルトにリセットします。</p> <p><b>注記：</b> Language (言語)、High Altitude Mode (高地モード)、Projector Position (プロジェクターの位置)、Network Settings (ネットワーク設定)、AppsCenterにインストールされているすべてのアプリ、Add App (アプリの追加)、Bluetooth、Keystone (キーストーン)、4 Corner Adjustment (4コーナー調整)、Light Source Hours (光源時間)は変更されません。</p>
<p><b>Reset to Factory Default (工場出荷時デフォルトにリセット)</b></p>	<p>すべての設定をデフォルト値に復元します。</p> <p><b>注記：</b> 光源時間は変更されません。</p>

## Firmware Upgrade (ファームウェアアップグレード)

ユーザーは、インターネットまたはUSBによりファームウェアを更新し、バージョン番号を確認できます。

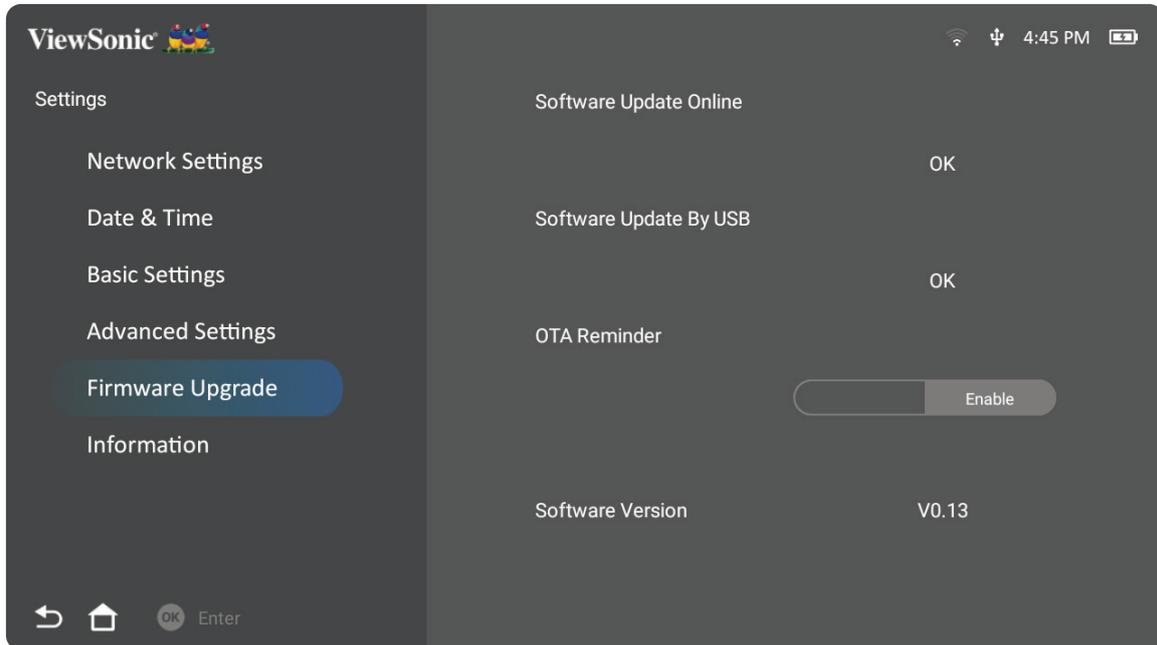
**注記：** アップグレードプロセス中に電源コード、USBを抜いたり、インターネットから切断したりしないでください。

1. **Firmware Upgrade (ファームウェア更新)** メニューに入る前に、プロジェクターがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. メニューに入るために、以下を選択します：**Home (ホーム) > Settings (設定) > Firmware Upgrade (ファームウェアアップグレード)**。

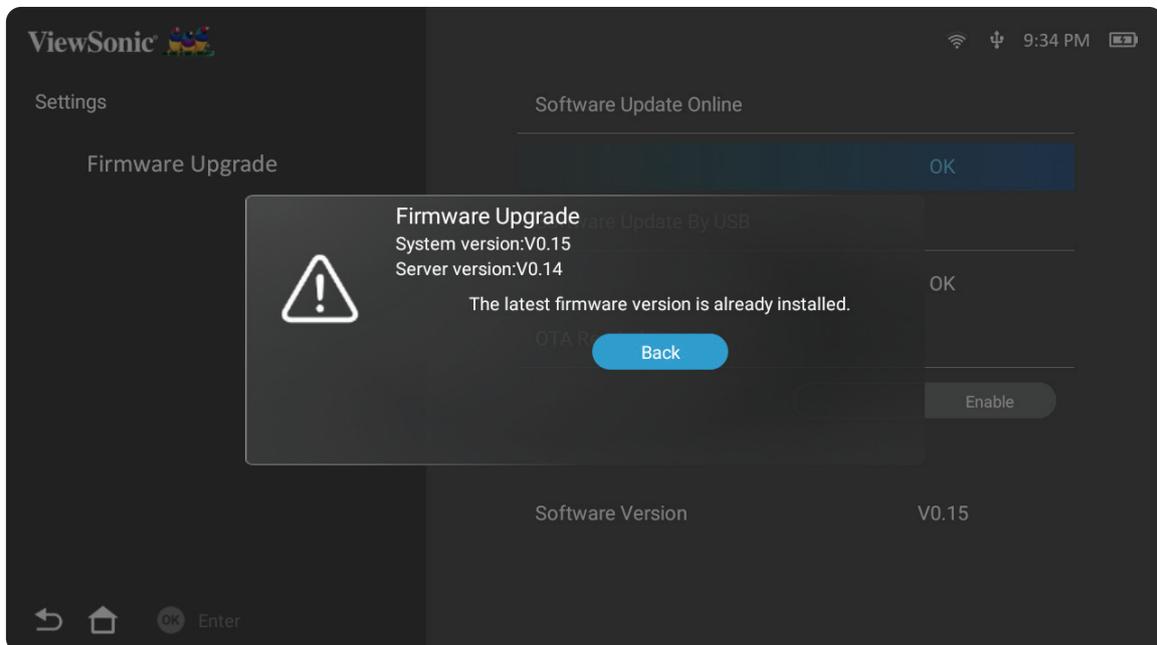


## Firmware Update Online (オンラインファームウェア更新)

1. 以下に進みます：**Home (ホーム) > Settings (設定) > Firmware Upgrade (ファームウェアアップグレード) > Software Update Online (オンラインソフトウェア更新)**。



2. リモコンの**OK**を押して、**Enter (入力)**を選択します。
3. システムは、ViewSonic Webサイト (OTA) を確認し、新しいファームウェアがある場合は、以下のダイアログメッセージを表示します。



4. **Yes (はい)** を選択すると、更新プロセスの開始時に進行状況バーが表示されます。



5. 100%に達すると、プロジェクターが再起動し、画面は数分後に黒色に切り替わります。全体のプロセスは約10分かかります。
6. ファームウェアの更新後、プロジェクターを再起動するために数分かかります。

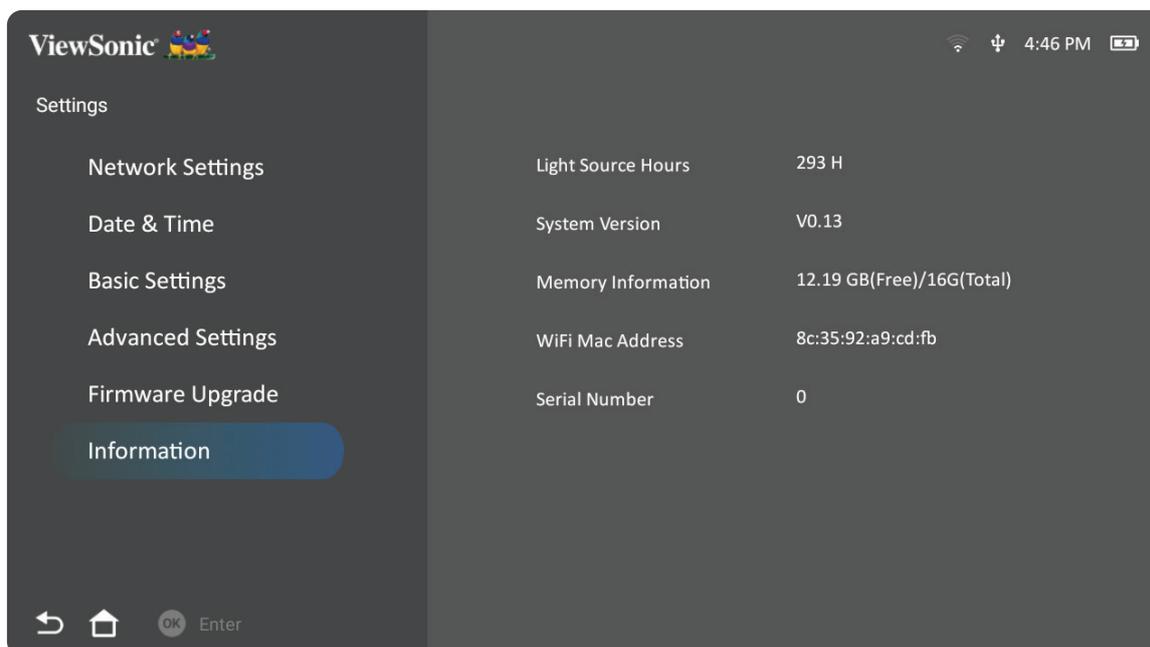
## FAT32形式のUSBによるファームウェアの更新

**注記：** NTFS形式(読み取り専用)です。

1. ViewSonic Webサイトから最新バージョンをダウンロードして、ファイルをUSBデバイスにコピーします。
2. USBをプロジェクターに差し込み、次に進みます：**Home (ホーム) > Setting (設定) > Firmware Upgrade (ファームウェアアップグレード) > Software Update By USB (USBによりソフトウェア更新)**。
3. リモコンの**OK**を押して、**Enter (入力)**を選択します。
4. システムはファームウェアのバージョンを検出し、上記のダイアログメッセージを表示します。
5. **Yes (はい)**を選択すると、更新プロセスの開始時に進行状況バーが表示されます。
6. 100%に達すると、プロジェクターが再起動し、画面は数分後に黒色に切り替わります。全体のプロセスは約10分かかります。
7. ファームウェアの更新後、プロジェクターを再起動するために数分かかります。

## Information (インフォメーション)

1. 以下を選択します：Home (ホーム) > Settings (設定) > Information (インフォメーション)。



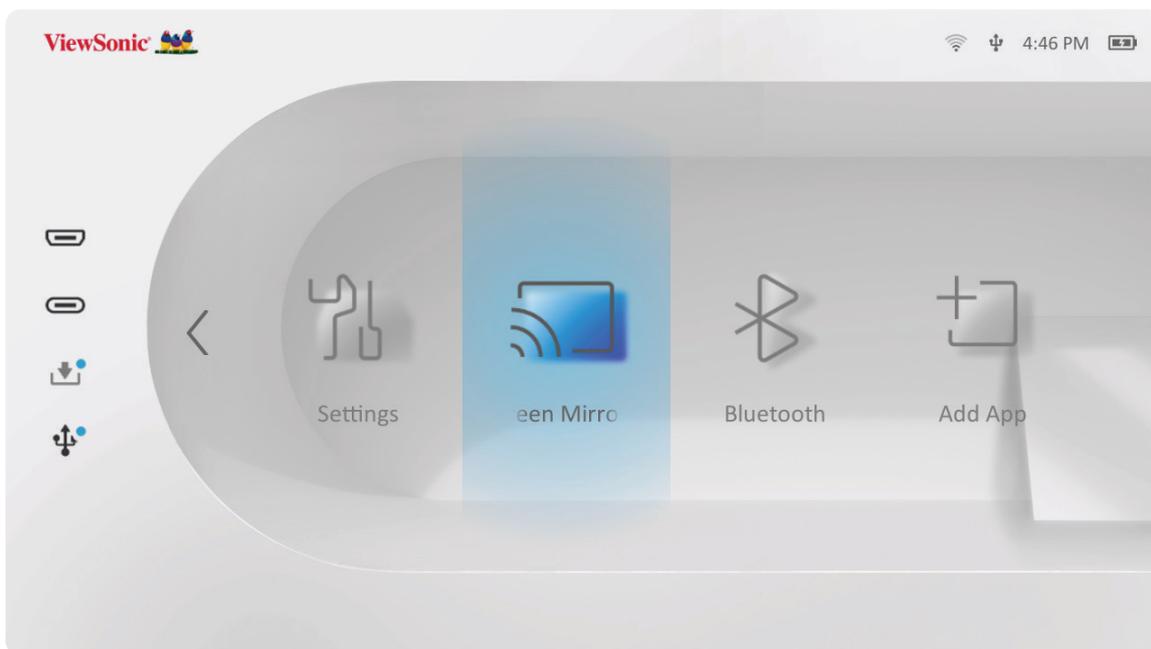
2. システムのステータスと情報を表示します。

**注記：** リモコンのHome (ホーム) ボタンを押して、いつでもHome Screen (ホーム画面)に戻ることができます。

## Screen Mirroring (画面ミラーリング)

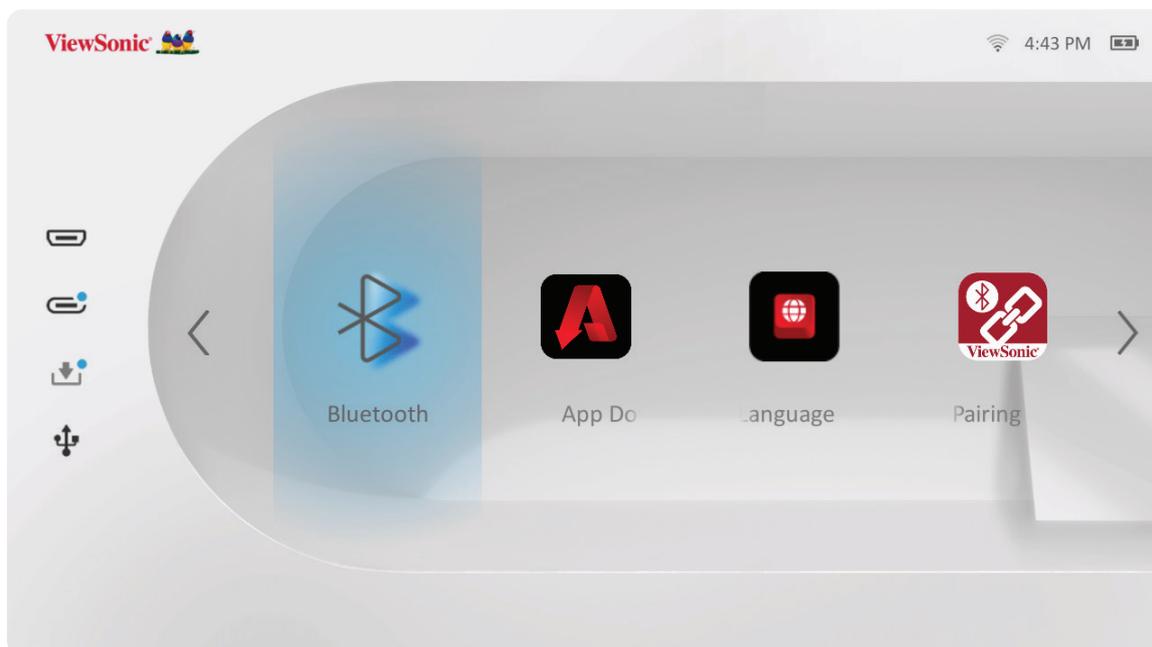
個人用デバイスの画面をミラーリングします。ワイヤレス画面ミラーリングを設定する場合は、25ページの「ワイヤレス画面ミラーリング」を参照してください。

**注記：** デバイスがプロジェクターと同じネットワークに接続されていることを確認してください。



## Bluetooth

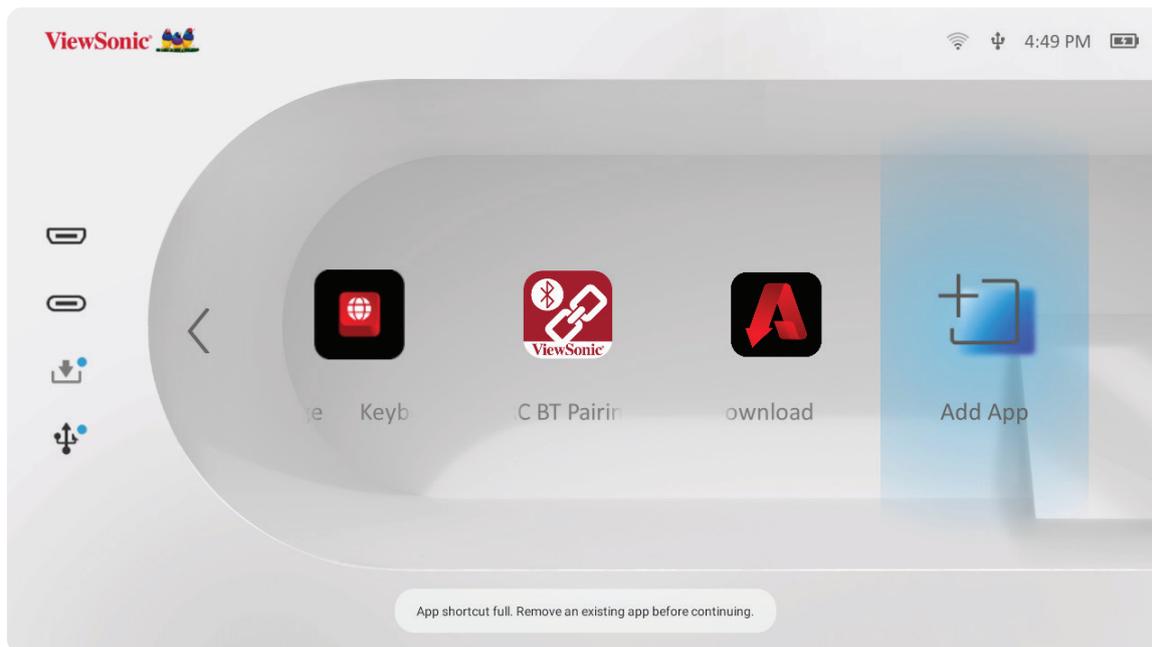
プロジェクターには、オーディオ再生用にデバイスをワイヤレスで接続するためのBluetoothが搭載されています。詳細については、18ページの「Bluetooth Connection (Bluetooth接続)」を参照してください。



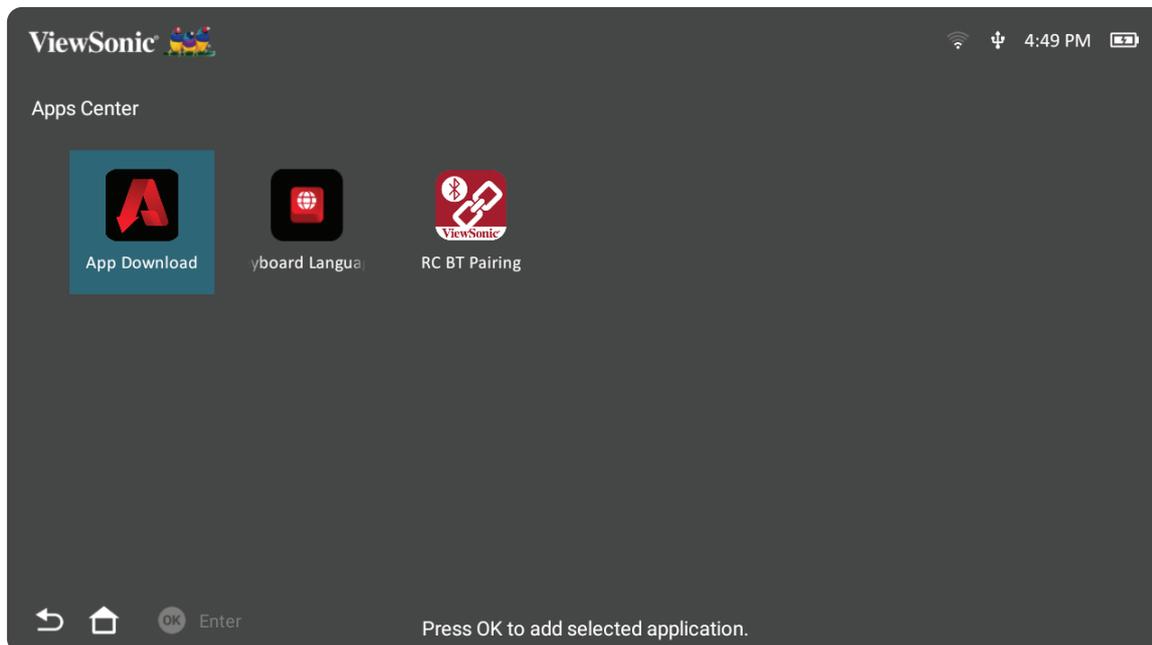
## アプリを追加する

お気に入りのアプリをHome Screen (ホーム画面) に追加します。

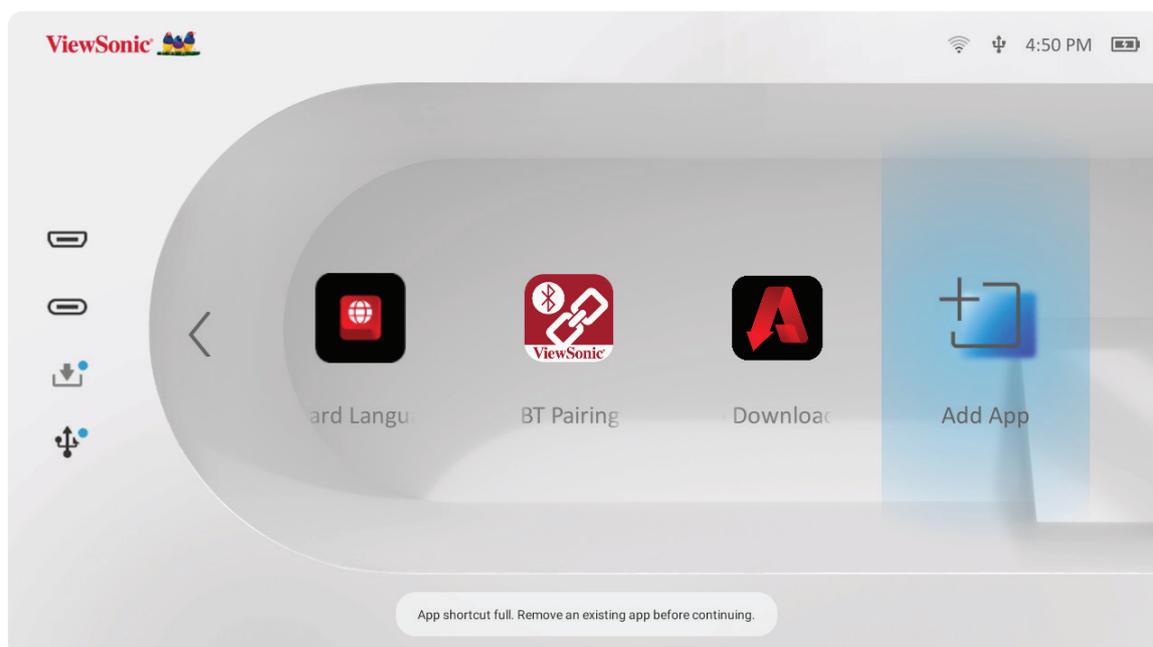
1. Home Screen (ホーム画面) から、Add App (アプリを追加) を選択し、次に、リモコンのOKを押します。



2. 方向ボタンを使って、希望のアプリを選択し、OKを押します。

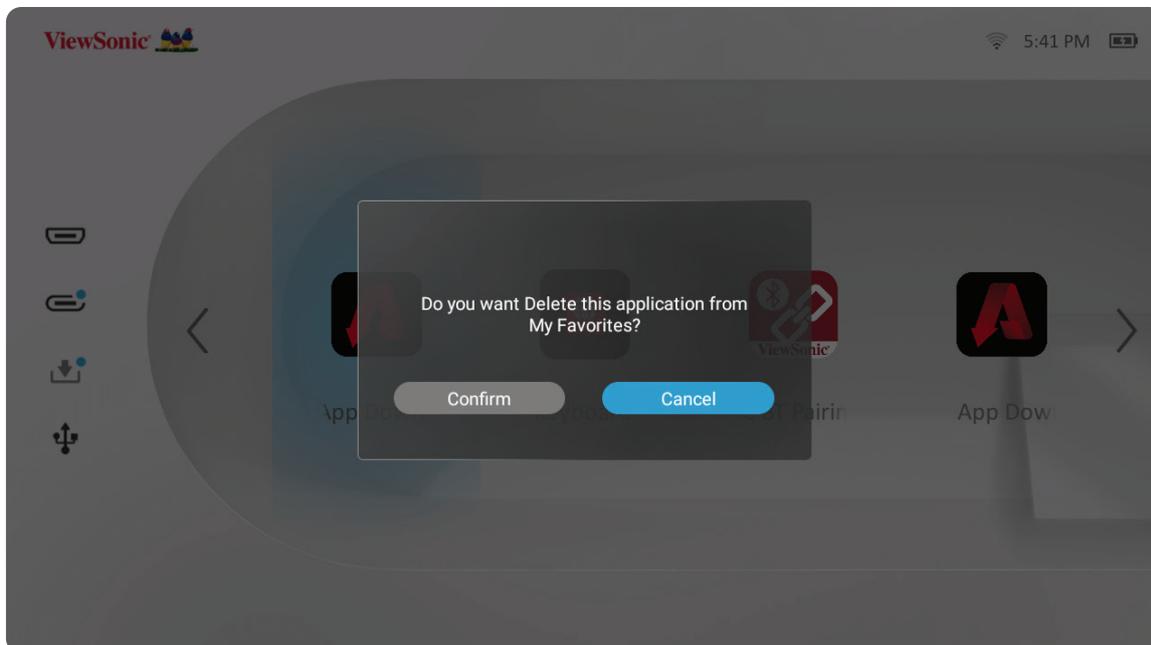


### 3. お気に入りのアプリがHome Screen (ホーム画面)に表示されます。



## アプリをホーム画面から削除する

1. Home Screen (ホーム画面) から、削除するアプリを選択し、**OK**を3秒間長押しします。
2. 「Do you want to Delete this application from My Favorites? (このアプリケーションをお気に入りから削除しますか?)」というメッセージが表示されます。



3. **Confirm (確認)**を選択し、**OK**を押して、アプリを削除します。

# 付録

## 仕様

項目	区分	仕様
プロジェクター	タイプ	0.2インチ WVGA、LED
	画面サイズ	24"~100"
	投射距離	0.64~2.66 m (1 mで38インチ)
	レンズ	F = 1.7、f = 5.5 mm
	光学ズーム	固定
	デジタルズーム	0.8x~1.0x
	光源タイプ	RGB LED
	光源寿命(通常)	最大60,000時間
	表示色	10億7000万色
	キーストーン	-/+ 40 (垂直)
	バッテリー容量	11790 mAh (3930 mAh 3.7V x 3)
入力信号	HDMI $f_h$ : 15k~102 kHz、 $f_v$ : 23~120 Hz、	
解像度	標準	854 x 480
	サポート	VGA (640 x 480) からフルHD (1920 x 1080)
入力	HDMI	1 (HDMI 1.4、HDCP 1.4)
	オーディオ入力	Bluetooth 4.2
	USBタイプA	1 x (USB 2.0 Reader)
	USBタイプC	1 x (ビデオ出力-5V/1.5A)
	Wi-Fi	1 x (5G)
出力	スピーカー	2 x 3Wキューブ
	USBタイプA(電源)	1 x (USB 2.0、5V/1A、USBリーダーと共有)
	音声出力(Bluetooth)	Bluetooth 4.2
	音声出力(3.5 mm)	1
電源アダプタ	入力電圧	100-240VAC, 50/60Hz (自動切替)
	出力電圧	DC 19V/3.26A
ローカルストレージ		合計: 16 GB
		利用可能: 12 GB
動作環境	気温	0°C~35°C (32°F~95°F)
	相対湿度	0%~90% (非結露)
寸法	寸法 (W x H x D)	166 x 138 x 54 mm (6.54" x 5.43" x 2.13")
重量	寸法	0.8 kg (1.76 lbs)
節約モード	オン	45W (標準)
	オフ	< 0.5W (スタンバイ)

# タイミングチャート

## HDMI/USB-Cビデオのタイミング

タイミング	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ドットクロック周波数 (MHz)
480i	720(1440) x 480	15.73	59.94	27
480p	720 x 480	31.47	59.94	27
576i	720(1440) x 576	15.63	50	27
576p	720 x 576	31.25	50	27
720/50p	1280 x 720	37.5	50	74.25
720/60p	1280 x 720	45	60	74.25
1080/24P	1920 x 1080	27	24	74.25
1080/25P	1920 x 1080	28.13	25	74.25
1080/30P	1920 x 1080	33.75	30	74.25
1080/50i	1920 x 1080	28.13	50	74.25
1080/60i	1920 x 1080	33.75	60	74.25
1080/50P	1920 x 1080	56.25	50	148.5
1080/60P	1920 x 1080	67.5	60	148.5

## HDMI/USB Cビデオのタイミング

解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ドットクロック周波数 (MHz)
640 x 480	59.94	31.469	25.175
	72.809	37.861	31.5
	75	37.5	31.5
720 x 400	70.087	31.469	28.3221
800 x 600	56.250	35.156	36
	60.317	37.879	40
	72.188	48.077	50
	75	46.875	49.5
1024 x 768	60.004	48.363	65
	70.069	56.476	75
	75.029	60.023	78.75
1152 x 864	75	67.5	108
1280 x 720	50	37.5	74.25
	60	45.00	74.25
1280 x 768	59.87	47.776	79.5
	74.893	60.289	102.25
1280 x 800	59.81	49.702	83.5
	74.934	62.795	106.5
1280 x 960	60	60	108
1280 x 1024	60.02	63.981	108
	75.025	79.976	135
1360 x 768	60.015	47.712	85.5
1400 x 1050	59.978	65.317	121.75
1440 x 900	59.887	55.935	106.5
	60	55.469	88.75
	74.984	70.635	136.75
1600 x 1200	60	75	162
1680 x 1050	59.883	64.674	119.000
	59.954	65.29	146.25
1920 x 1080	60	67.5	148.5

## 3Dサポートタイミング

HDMI 3D (情報フレーム付きのブルーレイ3D)				
信号	解像度(ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)	サポート
<b>フレームパッキング</b>				
1080p	1920 x 1080	16:9	23.98/24	はい
720p	1280 x 720	16:9	50/59.94/60	はい
<b>サイド・バイ・サイド</b>				
1080i	1920 x 1080	16:9	50/59.94/60	はい
<b>トップ・アンド・ボトム</b>				
1080p	1920 x 1080	16:9	23.98/24	はい
720p	1280 x 720	16:9	50/59.94/60	はい

3D (HDMI/USB C) 手動設定				
信号	解像度(ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)	サポート
SVGA	800 x 600	4:3	60*	はい
XGA	1024 x 768	4:3	60*	はい
HD	1280 x 720	16:9	60*	はい
WXGA	1280 x 800	16:9	60*	はい
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	60	はい
<b>注意事項：</b>				
* 60Hz信号は、サイド・バイ・サイド、トップ・アンド・ボトム、フレームシーケンシャルでサポートされています。				

## LED インジケーター

ライト	詳細
緑	電源オン
赤	スタンバイモード
白色に点滅	プロジェクターの充電中
白色に点灯	バッテリーは完全に充電されています

## トラブルシューティング

本章では、プロジェクターを使用するにあたり、発生する可能性がある問題と対処方法を記載します。

問題	解決策
プロジェクターの電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>電源コードがプロジェクターとコンセントに正しく接続されていることを確認してください。</li><li>冷却プロセスが完了していない場合は、終了するまで待つてからもう一度プロジェクターの電源を入れてください。</li><li>上記の方法でうまくいかない場合は、別のコンセントまたは同じコンセントで別の電気機器を試してください。</li><li>バッテリー残量<sup>1</sup>を確認するか、電源アダプターを接続してください。</li><li>プロジェクターのバッテリーが低下すると、自動的に電源がオフになったりオンになったりすることがあります。プロジェクターのスイッチを切り、少なくとも30分間バッテリーを充電してください。</li></ul>
画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>ビデオソースケーブルが正しく接続され、ビデオソースがオンになっていることを確認してください。</li><li>入力ソースが自動的に選択されていない場合は、プロジェクターまたはリモコンのSource (ソース) キーで正しいソースを選択してください。</li></ul>
画像がぼやけている	<ul style="list-style-type: none"><li>フォーカスリングを調整して、投影レンズの焦点を正しく合わせてください。</li><li>プロジェクターとスクリーンが正しく整列していることを確認してください。必要に応じて、プロジェクターの高さ、および投影角度と方向を調整してください。</li></ul>
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none"><li>リモコンとプロジェクターの間に障害物がなく、それらが互いの8 m (26フィート) 以内にあることを確認してください。</li><li>電池が切れている可能性があります。確認して、必要に応じて交換してください。</li></ul>
プロジェクター/システムはフリーズしており、応答しません	<ul style="list-style-type: none"><li>デバイスをリセットするには、<b>電源スイッチ</b>のオン/オフを切り替えてください。</li></ul>

<sup>1</sup> デバイスを長期間使用していない場合、最初にバッテリーを2時間充電する必要がある場合があります。

# メンテナンス

## お手入れの際の注意

- プロジェクターのお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
- プロジェクターから部品を取り外さないでください。プロジェクターの部品を交換する必要がある場合は、ViewSonic®または販売店にお問い合わせください。
- 絶対にケースに直接液体をスプレーしたり、かけたりしないでください。
- プロジェクターは十分注意してお取扱いください。傷がついた場合、跡が残る可能性があります。

## レンズを清掃する

- ほこりを取り除くために圧縮空気のキャニスターを使用してください。
- それでもレンズが汚れている場合は、レンズクリーニングペーパーを使用するか、レンズクリーナーで柔らかい布を湿らせて、表面をやさしく拭いてください。

**注意：** レンズを研磨剤でこすらないでください。

## ケースのお手入れ

- 柔らかい、糸くずの出ない乾いた布で汚れやほこりを取り除いてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量ケースにつけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

**注意：** ワックス、アルコール、ベンゼン、シンナー、その他の化学洗剤を絶対に使用しないでください。

## プロジェクターを保管する

プロジェクターを長期間保管する場合は、次の手順を実行してください。

- 保管場所の温度と湿度が推奨範囲内であることを確認してください。
- アジャスターフットを完全に引き込みます。
- リモコンから電池を取り出します。
- プロジェクターを、元の梱包材または同等の梱包材で梱包してください。

## 免責事項

- ViewSonic®は、レンズまたはケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用することはお勧めしません。いくつかの化学洗浄剤は、プロジェクターのレンズおよび/またはケースを損傷することが報告されています。
- ViewSonic®は、アンモニアやアルコールベースの洗剤の使用に起因する損傷の一切の責任を負いません。

# 規制およびサービス情報

## コンプライアンス情報

本セクションでは、関連するすべての要件と規制に関する声明を扱います。確認された対応用途は、本体上の銘板ラベルおよび関連マーキングを参照してください。

### FCCコンプライアンス声明

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします：(1) 本装置は有害な干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。本装置は、FCC規則パート15に従って試験され、クラスBデジタル装置の制限に準拠していることが判明しています。

これらの制限は、住宅における設置で有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しない場合には、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（装置の電源を入れ直して判断できます）、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変えてください。
- 本装置と受信機の間隔を広げてください。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに本装置を接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

**警告：**コンプライアンス担当者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、本装置の操作権限が失われる可能性があることに注意してください。

## **FCC放射線被ばく声明**

この装置は、管理されていない環境に対して定められたFCC放射線被曝制限に準拠しています。エンドユーザーは、RF暴露コンプライアンスを満たすために、特定の操作手順に従う必要があります。

本送信機は、他のアンテナや送信機と同じ場所に設置したり、一緒に動作させたりしてはなりません。本装置は、ラジエーターと身体の間には最低20 cmの距離を置いて設置および操作する必要があります。

意図的または意図的ではないラジエーターのユーザーマニュアルまたは取扱説明書は、コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、ユーザーの機器を操作する権限が無効になる可能性があることをユーザーに警告するものとします。

## **カナダ産業省の声明**

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

CAN ICES (B) / NMB (B)

## **IC警告に関する声明**

本装置は、カナダ産業省の免税RSS規格に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします：(1) 本装置は干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、装置の望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

## **国コードに関する声明**

米国/カナダ市場で入手可能な製品の場合、チャンネル1から11のみを操作できません。他のチャンネルの選択はできません。

Pour les produits disponibles aux États-Unis/Canada du marché, seul le canal 1 à 11 peuvent être exploités. Sélection d'autres canaux n'est pas possible.

## IC放射線被ばくに関する声明

本装置は、管理されていない環境に対して定められたIC RSS-102放射線被曝制限に準拠しています。本装置は、ラジエーターと身体の間には最低20cmの距離を置いて設置および操作する必要があります。5150～5825 MHz帯域の装置は、屋内での使用のみを目的としており、同一チャンネルのモバイル衛星システムへの有害な干渉の可能性を低減します。

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements IC établies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20cm de distance entre la source de rayonnement et votre corps. Les dispositifs fonctionnant dans la bande 5150-5825 MHz sont réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage.

5150～5250 MHz帯域の動作は、屋内での使用のみを目的としており、同一チャンネルのモバイル衛星システムへの有害な干渉の可能性を低減します。

La bande 5150-5250 MHz est réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux.

## 欧州諸国のCE適合

**CE** 本装置は、EMC指令2014/30/EUおよび低電圧指令2014/35/EUに準拠しています。エコデザイン指令2009/125/ECおよび無線機器指令2014/53/EU。

周波数範囲：2400～2483.5 MHz、5150～5250 MHz  
最大出力：20dBm未満

## 次の情報は、EU加盟国のみ適用されます：

右側のマークは、廃電気電子機器指令2012/19/EU (WEEE) に準拠しています。このマークは、本装置を未分類の地方自治体の廃棄物として処分せず、現地の法律に従って回収し、回収システムを使用する必要があることを示しています。



本製品に搭載される電池、アキュムレータ、ボタン型電池にHg (水銀)、Cd (カドミウム)、Pb (鉛) が表示される場合、電池には0.0005%を越える水銀、0.002%を越えるカドミウム、0.004%を越える鉛の、いずれかの重金属が含まれていることを示します。



## RoHS2コンプライアンス宣言

本製品は、欧州議会および理事会指令2011/65/EU（電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する指令（RoHS2指令））に準拠して設計・製造されており、欧州技術適合委員会（TAC）が発行する以下の最大濃度値に適合しているとみなされます：

物質	提案された最大濃度	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
六価クロム (Cr6 <sup>+</sup> )	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ビス (2-エチルヘキシル) (DEHP)	0.1%	< 0.1%
Benzyl butyl phthalate (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

上記のような製品の特定のコンポーネントは、下記のRoHS2指令の附属書IIIの下で免除されています。免除されているコンポーネントの例を以下に挙げます：

- 鉛を重量4 %まで含有する銅合金。
- 高融点温度はんだ中の鉛（すなわち、鉛を重量85 %以上含む鉛ベースの合金）。
- コンデンサに誘電体セラミック以外のガラスまたはセラミックの鉛を含む電気および電子部品（例えば、圧電素子、またはガラスまたはセラミックマトリックス化合物中）。
- 定格電圧が125 VACまたは250 VDC以上のコンデンサの誘電体セラミック中の鉛。

## バッテリー警告

### • 電池：

- » 電池が使用、保管、または輸送中にさらされる可能性のある極端な高温または低温。高高度では気圧が低くなります。
- » 安全装置を無効にする可能性のある不適切なタイプの電池交換（たとえば、一部のリチウム電池タイプの場合）。
- » 電池を火または高温のオープンに廃棄するか、電池を機械的に押しつぶして破裂させると爆発する恐れがあります。
- » 非常に高温の周囲環境に電池を放置すると、爆発または引火性の液体またはガスの漏れを引き起こす可能性があります。
- » 電池を極端に低い気圧に曝すと、爆発したり、可燃性の液体またはガスが漏れたりする可能性があります。

### ! 警告

- » このデバイスに使用される電池は、取り外したり分解すると火災や化学薬品による火傷のおそれがあります。
- » 安全を期するために、警告標記に従ってください。
- » 電池を間違ったタイプのものに交換すると、爆発の危険があります。
- » 火中に投じて廃棄しないでください。
- » LEDプロジェクターの電池は絶対に短絡させないでください。
- » 液漏れが見つかった場合は使用を中止してください。
- » 電池とその部品は適切にリサイクルまたは廃棄する必要があります。
- » 電池やその他の小さな部品はお子様の手が届かないようにしてください。

## インドの有害物質規制

有害物質規制に関する声明(インド)。本製品は、「インドE廃棄ルール2011」に準拠しており、鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭素化ビフェニルまたはポリ臭素化ジフェニルエーテルに対する濃度が0.1重量%、カドミウムに対する濃度が0.01重量%を超えるものを使用することが禁止されています。ただし、規則の附属書2に定められた免除を除きます。

## 製品ライフサイクル終了時の製品の廃棄

ViewSonic®は環境を尊重し、環境に配慮した緑化に取り組んでいます。よりスマートな、よりグリーンなコンピューティングに参加していただきありがとうございます。詳細については、ViewSonic®のWebサイトをご覧ください。

### 米国およびカナダ：

<https://www.viewsonic.com/us/go-green-with-viewsonic>

### 欧州：

<https://www.viewsonic.com/eu/environmental-social-governance/recycle>

### 台湾：

<https://recycle.moenv.gov.tw/>

**ユーザーの方は、本製品で安全性/事故問題に関する問題が発生した場合は、弊社にお問い合わせください：**

ViewSonic Europe Limited



Haaksbergweg 75  
1101 BR Amsterdam  
Netherlands



+31 (0) 650608655



[EPREL@viewsoniceurope.com](mailto:EPREL@viewsoniceurope.com)



<https://www.viewsonic.com/eu/>

## 著作権情報

Copyright© ViewSonic® Corporation, 2024. All rights reserved. 著作権所有。

Macintosh 及び Power Macintosh はアップル社Apple Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは米国及び他諸国のマイクロソフト社の登録商標です。

ViewSonic®、3羽の鳥のロゴはViewSonic® Corporationの登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。  
DPMS、DisplayPort 及び DDC は VESA の商標です。

ENERGY STAR® は米国環境保護庁 (EPA) の登録商標です。

ENERGY STAR® パートナーとして、ViewSonic® Corporationは本製品がエネルギー効率のための ENERGY STAR® ガイドラインに準拠することを決定しています。

**免責条項：**ViewSonic® Corporationは、本書における技術的または編集上の誤りについてその責を負いません。また、本資料の提供または本製品の動作或いは使用に起因する二次的または間接的損害についてもその責を負いません。

製品の継続的な品質向上のために、ViewSonic® Corporationは製品の仕様を予告なしに変更することができます。本文書の内容は予告なしに変更されることがあります。

本書のいかなる部分も、ViewSonic® Corporationから事前に書面による許可を得ることなく、いかなる方法によっても無断で複写、複製、転送することを禁じます。

## カスタマーサポート

技術サポート、または製品サービスについては下記ウェブサイトをご覧ください。

**注意事項：**製品のシリアル番号が必要です。

国/地域	ウェブサイト	国/地域	ウェブサイト
<b>アジア太平洋およびアフリカ</b>			
オーストラリア	<a href="http://www.viewsonic.com/au/">www.viewsonic.com/au/</a>	バングラデシュ	<a href="http://www.viewsonic.com/bd/">www.viewsonic.com/bd/</a>
中国 (China)	<a href="http://www.viewsonic.com.cn">www.viewsonic.com.cn</a>	香港 (繁體中文)	<a href="http://www.viewsonic.com/hk/">www.viewsonic.com/hk/</a>
香港 (英語)	<a href="http://www.viewsonic.com/hk-en/">www.viewsonic.com/hk-en/</a>	インド	<a href="http://www.viewsonic.com/in/">www.viewsonic.com/in/</a>
インドネシア	<a href="http://www.viewsonic.com/id/">www.viewsonic.com/id/</a>	イスラエル	<a href="http://www.viewsonic.com/il/">www.viewsonic.com/il/</a>
日本 (Japan)	<a href="http://www.viewsonic.com/jp/">www.viewsonic.com/jp/</a>	韓国	<a href="http://www.viewsonic.com/kr/">www.viewsonic.com/kr/</a>
マレーシア	<a href="http://www.viewsonic.com/my/">www.viewsonic.com/my/</a>	中東	<a href="http://www.viewsonic.com/me/">www.viewsonic.com/me/</a>
ミャンマー	<a href="http://www.viewsonic.com/mm/">www.viewsonic.com/mm/</a>	ネパール	<a href="http://www.viewsonic.com/np/">www.viewsonic.com/np/</a>
ニュージーランド	<a href="http://www.viewsonic.com/nz/">www.viewsonic.com/nz/</a>	パキスタン	<a href="http://www.viewsonic.com/pk/">www.viewsonic.com/pk/</a>
フィリピン	<a href="http://www.viewsonic.com/ph/">www.viewsonic.com/ph/</a>	シンガポール	<a href="http://www.viewsonic.com/sg/">www.viewsonic.com/sg/</a>
臺灣 (Taiwan)	<a href="http://www.viewsonic.com/tw/">www.viewsonic.com/tw/</a>	タイ	<a href="http://www.viewsonic.com/th/">www.viewsonic.com/th/</a>
ベトナム	<a href="http://www.viewsonic.com/vn/">www.viewsonic.com/vn/</a>	南アフリカとモーリシャス	<a href="http://www.viewsonic.com/za/">www.viewsonic.com/za/</a>
<b>アメリカ</b>			
米国	<a href="http://www.viewsonic.com/us">www.viewsonic.com/us</a>	カナダ	<a href="http://www.viewsonic.com/ca">www.viewsonic.com/ca</a>
ラテンアメリカ	<a href="http://www.viewsonic.com/la">www.viewsonic.com/la</a>		
<b>欧州</b>			
欧州	<a href="http://www.viewsonic.com/eu/">www.viewsonic.com/eu/</a>	フランス	<a href="http://www.viewsonic.com/fr/">www.viewsonic.com/fr/</a>
Deutschland	<a href="http://www.viewsonic.com/de/">www.viewsonic.com/de/</a>	Қазақстан	<a href="http://www.viewsonic.com/kz/">www.viewsonic.com/kz/</a>
Россия	<a href="http://www.viewsonic.com/ru/">www.viewsonic.com/ru/</a>	España	<a href="http://www.viewsonic.com/es/">www.viewsonic.com/es/</a>
Türkiye	<a href="http://www.viewsonic.com/tr/">www.viewsonic.com/tr/</a>	Україна	<a href="http://www.viewsonic.com/ua/">www.viewsonic.com/ua/</a>
英国	<a href="http://www.viewsonic.com/uk/">www.viewsonic.com/uk/</a>		

## 限定保証

### ViewSonic®プロジェクター

#### 保証内容：

ViewSonic®は、保証期間中、通常の使用の下で、製品に材料や製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間中に製品の材料または製造上の欠陥が判明した場合、ViewSonic®は、唯一の救済策として、修理または類似の製品に交換します。交換用の製品または部品には、再生または改装された部品またはコンポーネントが含まれる場合があります。

#### 通常使用の場合の3年間限定保証：

南北アメリカでは、下記の1年間の限定保証が適用されます。ランプを除くすべての部品の保証期間は3年間、工作に対する保証期間は3年間、元のランプの保証期間は1年間です（最初の消費者の購入日を基準とします）。

その他の地域または国：保証情報については、最寄りの販売店または最寄りのViewSonic®オフィスに確認してください。

#### 多用される場合の1年間限定保証：

南北アメリカにおいて、プロジェクターの使用が1日の平均使用時間が14時間を超えるような、過酷な使用環境では、ランプを除くすべての部品の保証期間は1年間、工作に対する保証期間は1年間、元のランプの保証期間は90日間です（最初の消費者の購入日を基準とします）。欧州：ランプを除くすべての部品の保証期間は1年間、工作に対する保証期間は1年間、元のランプの保証期間は90日間です（最初の消費者の購入日を基準とします）。その他の地域または国：保証情報については、最寄りの販売店または最寄りのViewSonic®オフィスに確認してください。ランプの保証は、契約条件、検証および承認に従います。メーカーが設置したランプのみに適用されます。別途購入したアクセサリランプは、すべて90日間保証されます。

#### 保証対象者：

この保証は、最初の消費者購入者にのみ有効です。

#### 保証対象外：

1. シリアル番号が破損、変更、または削除された製品。
2. 以下に起因する損傷、劣化、または誤動作：
  - » 事故、誤用、怠慢、火災、洪水、雷、または自然災害、不正な製品の変更、または製品に付属の説明書の不順守。
  - » 製品仕様外の操作。

- » 通常の使用目的以外での、または通常の条件下以外での製品の操作。
- » ViewSonic®の認可を受けていない者による修理または修理の試み。
- » 出荷による製品の損傷。
- » 製品の取り外しまたは取り付け。
- » 電力の変動や停電など、製品外部の原因。
- » ViewSonicの仕様を満たしていない消耗品または部品の使用。
- » 通常の損耗。
- » 製品の欠陥に関係しないその他の原因。

### 3. 取り外し、設置、設定サービス料金。

#### **サービスを受ける方法：**

1. 保証サービスを受ける方法については、ViewSonic®カスタマサポートにお問い合わせください（「カスタマーサポート」のページを参照してください）。製品のシリアル番号を提供してください。
2. 保証サービスを受けるために、以下を提供してください：(a) 元の日付付き売上伝票、(b) 名前、(c) 住所、(d) 問題の説明、(e) 製品のシリアル番号。
3. 元のコンテナに保管された製品を認可されたViewSonic®サービスセンターまたはViewSonic®に持ち込むか、料金前払いで出荷してください。
4. 最寄りのViewSonic®サービスセンターの追加情報または名称については、ViewSonic®にお問い合わせください。

#### **黙示の保証の制限：**

商品性および特定の目的への適合性を含め、ここに記載されている内容を超える明示または黙示の保証はありません。

## 損害の除外：

ViewSonicの責任は、製品の修理または交換の費用に限られます。ViewSonic®は、以下の責任を負わないものとします：

1. 不具合に起因する損害、製品の使用の喪失、時間の損失、利益の損失、事業機会の喪失、のれんの喪失、取引関係への干渉、または、その他の商業的損失（たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも）。
2. 偶発的、派生的、またはそれ以外のその他の損害。
3. 他の当事者による顧客に対するクレーム。

## 州法の効果：

本保証は、お客様に特定の法的権利を付与するものであり、また地方自治体ごとに異なるその他の権利を有する場合があります。一部の地方自治体では、黙示の保証の制限を認めない、または、付随的または間接的な損害の除外を認めないため、上記の制限および除外が適用されない場合があります。

## 米国およびカナダ外の販売：

米国およびカナダ以外で販売されるViewSonic®製品の保証情報とサービスについては、ViewSonic®またはお近くのViewSonic®販売店にお問い合わせください。

中国本土（香港、マカオ、台湾除く）における本製品の保証期間は、保守保証保証書の条件に従います。

欧州およびロシアのユーザーの場合、提供される保証の詳細は、<http://www.viewsonic.com/eu/>にあるサポート/保証情報を参照してください。



**ViewSonic®**